

平成27年度 修士論文

## 酒蔵建築の活用に関する研究

－ 全国の蔵元における概要調査と特徴的事例の詳細分析 －

首都大学東京大学院

都市環境科学研究科 建築学域

14886423 宮尾侑里

指導教員 鳥海基樹

---

## 目次

---

### 第1章 序

研究の背景と目的	6
既往研究と本論文の位置づけ	7
研究手法と調査対象	8
論文構成	18

### 第2章 日本酒の概要と変遷

日本酒業界の変遷	22
醸造工程と建物	27
小結	34

### 第3章 酒蔵建築における動向

アンケート調査	38
ヒアリング調査	42
行政による支援	45
観光に向けた取り組み	48

### 第4章 酒蔵建築の保存活用

実地調査の概要	54
内部構成による分析	56
補修・改修による保存状況	58
用途変更に伴う取り組み	60

### 第5章 総括

まとめ・研究の成果	70
今後の課題と展望	72

### 資料編

事例集	76
参考文献・既往研究	211
アンケート・ヒアリング	212

---

第1章

序

---

研究の背景と目的

既往研究と本論文の位置づけ

研究手法と調査対象

論文の構成

## 1-1. 研究の背景と目的

日本酒の始まりは、紀元前に遡る。「日本酒」という呼び名が生まれたのは、江戸幕府が鎖国政策を廃止し、日本の酒が商品として国外に知られるようになってからのことである。以後現在に至るまで、日本酒は日本の“國酒”としてその文化を築きあげてきた。

これまで、日本酒をはじめとする日本産酒類の各種振興においては担当府省や関連機関において個別に実施されていたが、近年、こうした「國酒」を巡る政策面にも変化が現れてきた。2012年に「ENJOY JAPANESE KOKUSHU（國酒を楽しもう）プロジェクトが発足、あわせて有識者による「ENJOY JAPANESE KOKUSHU）プロジェクト推進協議会が発足した。これは、「日本らしさの結晶」である國酒の魅力とは裏腹にワイン等高級洋酒に押されている現状に対して、オールジャパンで官民連携し、魅力の認知度向上や輸出促進を国家の戦略として進めることを目的としたものである。

さらに2013年1月に閣議決定された「日本経済再生に向けた緊急経済対策」では、「地域の特色を活かした地域活性化」の中で、「地域の魅力の発信、観光の振興」に向けた方策として、「農林水産物の輸出拡大及び日本食・食文化発信緊急対策」「日本産酒類の総合的な輸出環境整備」が位置づけられている。また、2013年には酒蔵及び酒類を観光資源とした先進的な取り組みの発信を目的とした「酒蔵ツーリズム推進協議会」が観光庁の呼び掛けにより発足した。

これらの取り組みを契機として、日本酒業界は日本の文化として、今後さらに日本にとどまらず世界へ発信されていくといえる。また、観光資源としても、多くの人が酒蔵を訪れる機会が今後さらに増えつつあるといえる。

日本酒酒造には創業100年以上経過するものも多く、現在では建設することの困難なその木造蔵は観光資源や地域活性化資源として大きな価値を備えている。しかしその一方で、日本酒業界の低迷により廃業を余儀なくされ、地震災害、建物の老朽化という理由により取り壊される酒蔵が多いこともまた事実である。歴史ある酒蔵建築が次々と消失していくことは、日本の都市景観そのものにも大きな影響を及ぼす。失われつつある都市の景観とこの貴重な資源の価値を再認識し、今後の酒蔵建築の姿を再考することが今日の課題である。

本研究では、現在日本酒を醸造している全国の酒造を対象として、その変遷を辿り、各事例の現状を調査することで今後の酒蔵建築の在り方を考察することを目的とする。

## 1-2. 既往研究と本論文の位置づけ

酒蔵建築に関しては、材料や構造の分野からその建築特性を明らかにしている研究が存在する。以下に、既往研究を紹介する。

・山口昭三：「日本の酒蔵」、(財)九州大学出版会、2009.3.10

いくつかの事例を基に、各地方における酒蔵建築と特性を明らかにしている。

以上の既往研究においては、木造蔵の小屋組みからその建設年代の分類が行われている。また、その建築特性に基づき、地域性が明らかにされている。

そこで本研究では、現存する酒蔵建築と、その保存活用の現状を把握する。

1-3. 研究手法と調査対象

研究手法

【アンケート調査】

現在、日本酒を醸造している酒造は全国47都道府県に各1軒以上存在する。  
そこで、新潟県酒造組合に加盟する酒造と全国の日本酒製造蔵が掲載されている書籍「酒蔵名鑑2014～2015年版」に掲載されている酒造を対象とし、全1563軒に酒蔵に関するアンケート調査を送付する。

【実地調査】

アンケート調査の結果を元に、1府11県において実地調査を行う。軒を対象に、写真撮影による外観調査を行い、さらに建物の内部を見せていただける軒を対象として建物内観調査とヒアリングを行う。

アンケート調査の対象

今回のアンケート調査を行うにあたって、全国の日本酒酒造を対象に、戦前に建設された酒蔵の有無などを尋ねた。アンケート調査は二段階に分けて行い、2013年に新潟県を対象として軒のアンケートを送付し、2015年に新潟県を除く46都道府県にアンケートの送付を行った。

以下、アンケートの送付先市町村別一覧を示す。各送付先名の詳細は資料編に示す。

都道府県	市・郡	軒数
北海道	虻田郡	1
	小樽市	3
	札幌市	1
	夕張郡	1
	旭川市	3
	樺戸郡	1
	増毛郡	1
	釧路市	1
	根室市	1
	計	13
青森県	八戸市	2
	十和田市	1
	むつ市	1
	黒石市	2
	弘前市	7
	つがる市	1
	青森市	1
	西津軽郡	1
	北津軽郡	1
	三戸郡	2
	上北郡	2
	計	
岩手県	盛岡市	4
	一関市	2
	大船渡市	1
	北上市	1
	花巻市	2
	釜石市	1
	宮古市	1
	下閉伊郡	1
	遠野市	1
	紫波郡	4

都道府県	市・郡	軒数
	二戸市	1
	八幡平市	1
	久慈市	1
	一関市	1
	奥州市	1
	計	
秋田県	秋田市	6
	湯沢市	5
	横手市	5
	大仙市	9
	由利本荘市	4
	能代市	2
	大館市	1
	にかほ市	1
	潟上市	1
	南秋田郡	1
	山本郡	1
	鹿角市	1
	仙北郡	3
	計	
山形県	山形市	3
	寒河江市	3
	西村山郡	5
	米沢市	5
	東置賜郡	7
	南陽市	1
	西置賜郡	3
	長井市	3
	天童市	2
	村山市	2
	最上郡	1
	鶴岡市	7

都道府県	市・郡	軒数
	酒田市	7
	東根市	1
	東田川郡	2
	鮎川郡	2
	計	1
宮城県	名取市	1
	仙台市	2
	黒川郡	2
	加美郡	3
	塩竈市	2
	石巻市	2
	大崎市	7
	栗原市	4
	気仙沼市	2
	白石市	1
	柴田郡	1
	遠田郡	1
	登米市	1
	計	
福島県	福島市	1
	白河市	4
	西白河郡	1
	岩瀬郡	2
	郡山市	6
	田村市	1
	東白河郡	2
	田村郡	1
	石川郡	2
	二本松市	4
	会津若松市	9
	喜多方市	10
	南会津郡	4

【関東地方】

都道府県	市・郡	軒数
	本宮市	1
	耶麻郡	4
	大沼郡	1
	河沼郡	3
	いわき市	4
	双葉郡	4
	計	

都道府県	市・郡	軒数
栃木県	宇都宮市	4
	那須烏山市	1
	日光市	2
	芳賀郡	2
	真岡市	1
	栃木市	3
	小山市	5
	大田原市	6
	那須郡	1
	佐野市	3
	さくら市	1
	矢坂市	2
	塩谷郡	2
	下都賀郡	1
	計	
群馬県	太田市	3
	巴楽郡	1
	高崎市	3
	佐波郡	2
	甘楽郡	1
	北群馬郡	1
	前橋市	2
	館林市	3
	藤岡市	3
	みどり市	1
	渋川市	1
	吾妻郡	2
	沼田市	2
	利根郡	2
	計	
茨城県	つくば市	2
	常総市	3
	桜川市	3
	登米市	1
	筑西市	1
	龍ヶ崎市	1
	取手市	2
	古河市	1
	猿島郡	1
	結城市	2
	笠間市	4
	水戸市	3
	那珂市	1
	常陸太田市	5
	東茨城郡	1
	潮来市	2

都道府県	市・郡	軒数
	行方市	1
	石岡市	4
	日立市	4
	北茨城市	1
	常陸大宮市	2
	久慈郡	1
	計	
	黒川郡	2
	加美郡	3
	塩竈市	2
	石巻市	2
	大崎市	7
	栗原市	4
	気仙沼市	2
	白石市	1
	柴田郡	1
	遠田郡	1
	登米市	1
	計	
千葉県	野田市	1
	佐倉市	1
	印旛郡	1
	成田市	1
	香取市	3
	銚子市	3
	香取郡	3
	山武市	5
	托瑛市	1
	君津市	5
	南房総市	1
	鴨川市	2
	いすみ市	1
	夷隅郡	2
	富津市	2
	長生郡	1
	勝浦市	2
	計	
埼玉県	さいたま市	4
	幸手市	1
	北葛飾郡	1
	久喜市	1
	加須市	2
	羽生市	3
	蓮田市	2
	川越市	1
	入間郡	2

【甲信越地方】

都道府県	市・郡	軒数
	日高市	1
	比企郡	3
	飯能市	2
	熊谷市	1
	行田市	2
	上尾市	1
	深谷市	3
	児玉郡	1
	秩父市	3
	大里郡	1
	計	
東京都	北区	1
	府中市	1
	東村山市	1
	あきる野市	2
	八王子市	1
	福生市	2
	青梅市	1
	計	
神奈川県	厚木市	1
	愛甲郡	1
	海老名市	1
	相模原市	2
	茅ヶ崎市	1
	足柄上郡	5
	伊勢原市	1
	秦野市	1
	計	

都道府県	市・郡	軒数
山梨県	南アルプス市	2
	南巨摩郡	3
	大月市	1
	南都留郡	1
	山梨市	1
	笛吹市	1
	韮崎市	5
	北杜市	4
	計	
長野県	長野市	7
	上高井郡	3
	下高井郡	1
	須坂市	2
	中野市	5
	小諸市	1
	佐久市	11
	佐久郡	1
	上田市	6
	千曲市	3
	上水内郡	1
	飯山市	2
	松本市	6
	茅野市	1
	諏訪市	5
	諏訪郡	1
	岡谷市	2
	飯田市	1
	伊那市	4
	木曾郡	2
	大町市	3
	上伊那郡	3
	塩尻市	3
	駒ヶ根市	1
	木曾郡	2
	東筑摩郡	1
	安曇野市	1
	北安曇郡	2
新潟県	古河市	1
	猿島郡	1
	結城市	2
	笠間市	4
	水戸市	3
	那珂市	1
	常陸太田市	5
	東茨城郡	1
	潮来市	2

都道府県	市・郡	軒数
	行方市	1
	石岡市	4
	日立市	4
	北茨城市	1
	常陸大宮市	2
	久慈郡	1
	計	
	黒川郡	2
	加美郡	3
	塩竈市	2
	石巻市	2
	大崎市	7
	栗原市	4
	気仙沼市	2
	白石市	1
	柴田郡	1
	遠田郡	1
	登米市	1
	計	
千葉県	野田市	1
	佐倉市	1
	印旛郡	1
	成田市	1
	香取市	3
	銚子市	3
	香取郡	3
	山武市	5
	托瑛市	1
	君津市	5
	南房総市	1
	鴨川市	2
	いすみ市	1
	夷隅郡	2
	富津市	2
	長生郡	1
	勝浦市	2
	計	
埼玉県	さいたま市	4
	幸手市	1
	北葛飾郡	1
	久喜市	1
	加須市	2
	羽生市	3
	蓮田市	2
	川越市	1
	入間郡	2

## 【北陸地方】

都道府県	市・郡	軒数
富山県	富山市	5
	南砺市	1
	小矢部市	1
	高岡市	2
	氷見市	1
	滑川市	1
	魚津市	1
	黒部市	2
	下新川郡	1
	砺波市	3
	南砺市	2
	計	
石川県	金沢市	3
	白山市	5
	野々市	1
	加賀市	3
	小松市	4
	能美市	2
	七尾市	2
	鳳珠郡	3
	珠洲市	2
	輪島市	6
	河北郡	1
	羽咋郡	1
	羽咋市	1
	鹿島郡	2
	計	
福井県	福井市	4
	勝山市	1
	大野市	3
	敦賀市	1
	越前市	2
	鯖江市	3
	丹生郡	2
	小浜市	1
	南条郡	4
	坂井市	1
	三方郡	1
	三方上中郡	1
	計	

## 【東海地方】

都道府県	市・郡	軒数
静岡県	沼津市	1
	伊豆市	1
	御殿場市	1
	富士宮市	4
	静岡市	7
	藤枝市	4
	焼津市	1
	島田市	1
	浜松市	2
	袋井市	1
	掛川市	2
	磐田市	1
	菊川市	1
	計	
岐阜県	岐阜市	3
	揖斐郡	3
	加茂郡	5
	美濃市	1
	郡上市	3
	羽島市	2
	大垣市	3
	養老郡	1
	各務原市	3
	美濃加茂市	1
	可児郡	1
	可児市	2
	高山市	7
	飛騨市	3
	多治見市	1
	中津川市	5
	下呂市	2
	土岐市	1
	瑞浪市	2
	恵那市	2
	計	
愛知県	新城市	1
	北設楽郡	1
	豊橋市	2
	岡崎市	2
	西尾市	1
	豊田市	3
	安城市	1
	西尾市	1
	碧南市	1
	清須市	1
	名古屋市	5

都道府県	市・郡	軒数
	知多郡	2
	半田市	2
	常滑市	2
	江南市	3
	犬山市	2
	稲沢市	2
	津島市	2
	愛西市	4
	海部郡	2
	計	
三重県	四日市市	6
	鈴鹿市	1
	津市	6
	三重郡	4
	桑名市	2
	松阪市	4
	多気郡	3
	伊勢市	1
	伊賀市	8
	計	

## 【近畿地方】

都道府県	市・郡	軒数
滋賀県	大津市	3
	高島市	6
	野洲市	4
	蒲生郡	4
	湖南市	2
	甲賀市	10
	東近江市	6
	彦根市	1
	犬上郡	3
	近江八幡市	1
	草津市	2
	長浜市	3
	愛知郡	2
	計	
京都府	京都市	26
	城陽市	1
	福知山市	1
	亀岡市	3
	綾部市	1
	舞鶴市	1
	宮津市	1
	与謝郡	3
	京丹後市	7
	船井郡	1
	計	
奈良県	生駒市	3
	奈良市	5
	天理市	4
	桜井市	3
	宇陀郡	3
	橿原市	2
	高市	2
	北葛城郡	1
	五條市	2
	吉野郡	5
	香芝市	2
	葛城市	2
	大和郡	1
	御所市	4
	計	
和歌山県	紀の川市	2
	海草郡	1
	海南市	6
	和歌山市	5
	有田郡	2
	御坊市	2

## 【中国地方】

都道府県	市・郡	軒数
	田辺市	1
	新宮市	1
	岩出市	1
	伊都郡	1
	計	
大阪府	池田市	2
	豊能郡	1
	茨木市	1
	高槻市	2
	交野市	2
	藤井寺市	1
	河内長野市	1
	岸和田市	2
	泉佐野市	1
	阪南市	1
	計	
兵庫県	南あわじ市	1
	淡路市	1
	神戸市	15
	西宮市	12
	伊丹市	2
	川辺郡	1
	養父市	3
	豊岡市	2
	三田市	2
	篠山市	4
	丹波市	4
	朝来市	3
	美方郡	2
	姫路市	8
	揖保郡	1
	宍粟市	2
	三木市	1
	明石市	7
	加東市	3
	加古川市	1
	加古川郡	2
	加西市	2
	赤穂市	1
	計	

都道府県	市・郡	軒数
鳥取県	鳥取市	3
	八頭郡	2
	岩美郡	1
	東伯郡	5
	倉吉市	3
	西伯郡	1
	米子市	1
	境港市	1
	日野郡	1
	計	
島根県	隠岐郡	1
	松江市	4
	雲南市	3
	飯石郡	1
	出雲市	4
	安来市	3
	大田市	3
	江津市	1
	巴智郡	3
	浜田市	2
	益田市	3
	仁多郡	2
	鹿足郡	4
	計	
岡山県	岡山市	5
	赤磐市	5
	美作市	4
	瀬戸内市	2
	備前市	1
	玉野市	1
	津山市	3
	和気郡	1
	倉敷市	10
	笠岡市	2
	浅口市	5
	井原市	2
	高梁市	3
	加賀郡	1
	真庭市	3
	浅口郡	1
	総社市	3
	新見市	1
	計	
広島県	神石郡	1
	福山市	3
	尾道市	1

【四国地方】

都道府県	市・郡	軒数
	三原市	1
	竹原市	3
	庄原市	4
	三次市	3
	広島市	7
	山県郡	3
	安芸郡	1
	呉市	9
	江田島市	2
	廿日市市	1
	東広島市	11
	安芸高田市	1
	計	
山口県	岩国市	5
	下松市	1
	周南市	4
	防府市	1
	山口市	3
	下関市	3
	萩市	6
	宇部市	2
	山陽小野田市	1
	美弥市	1
	阿武郡	2
	長門市	2
	計	

【九州地方】

都道府県	市・郡	軒数
徳島県	阿南市	2
	三好市	5
	鳴門市	1
	徳島市	1
	美馬郡	1
	三好郡	1
	計	
香川県	高松市	1
	綾歌郡	2
	丸亀市	1
	小豆郡	1
	仲多度郡	1
	観音寺市	1
	計	
愛媛県	松山市	5
	東温市	2
	上浮穴郡	2
	伊予郡	4
	喜多郡	5
	新居浜市	1
	西条市	6
	今治市	2
	大洲市	2
	八幡浜市	4
	宇和郡	1
	西予市	5
	宇和島市	4
	北宇和郡	1
	南宇和郡	1
	四国中央市	2
	伊予市	1
	計	
高知県	高知市	1
	土佐市	1
	吾川郡	1
	土佐郡	1
	香南市	1
	安芸郡	4
	香美市	1
	安芸市	2
	高岡郡	4
	四万十市	1
	計	

都道府県	市・郡	軒数
福岡県	北九州市	2
	福岡市	4
	糟屋郡	2
	古賀市	1
	福津市	1
	宗像市	3
	筑紫野市	1
	糸島市	1
	飯塚市	2
	嘉麻市	3
	宮若市	1
	京都郡	1
	田川郡	1
	豊前市	1
	久留米市	14
	三井郡	2
	大川市	2
	柳川市	1
	八女市	5
	みやま市	5
	朝倉市	3
	小都市	1
	朝倉郡	1
	うきは市	1
	築上郡	1
	計	
佐賀県	佐賀市	3
	三養基郡	2
	嬉野市	3
	西松浦郡	2
	小城市	2
	多久市	1
	唐津市	2
	伊万里市	5
	杵島郡	1
	鹿島市	7
	計	
長崎県	壱岐市	2
	対馬市	1
	棘早郡	1
	雲仙市	3
	島原市	1
	佐世保市	3
	南島原市	2
	東彼杵郡	1
	平戸市	2

都道府県	市・郡	軒数
	計	
大分県	大分市	1
	宇佐市	7
	杵築市	2
	国東市	2
	臼杵市	4
	佐伯市	3
	日田市	3
	竹田市	1
	中津市	1
	豊後高田市	1
	玖珠郡	2
	由布市	2
	豊後大野市	2
	計	
熊本県	熊本市	2
	山鹿市	1
	玉名郡	1
	菊池市	1
	上益城郡	2
	阿蘇郡	3
	葦北郡	1
	計	
宮崎県	宮崎市	1
	延岡市	1
	計	
鹿児島県	いちき串木野市	1
	計	1
沖縄県	うるま市	1
	計	1

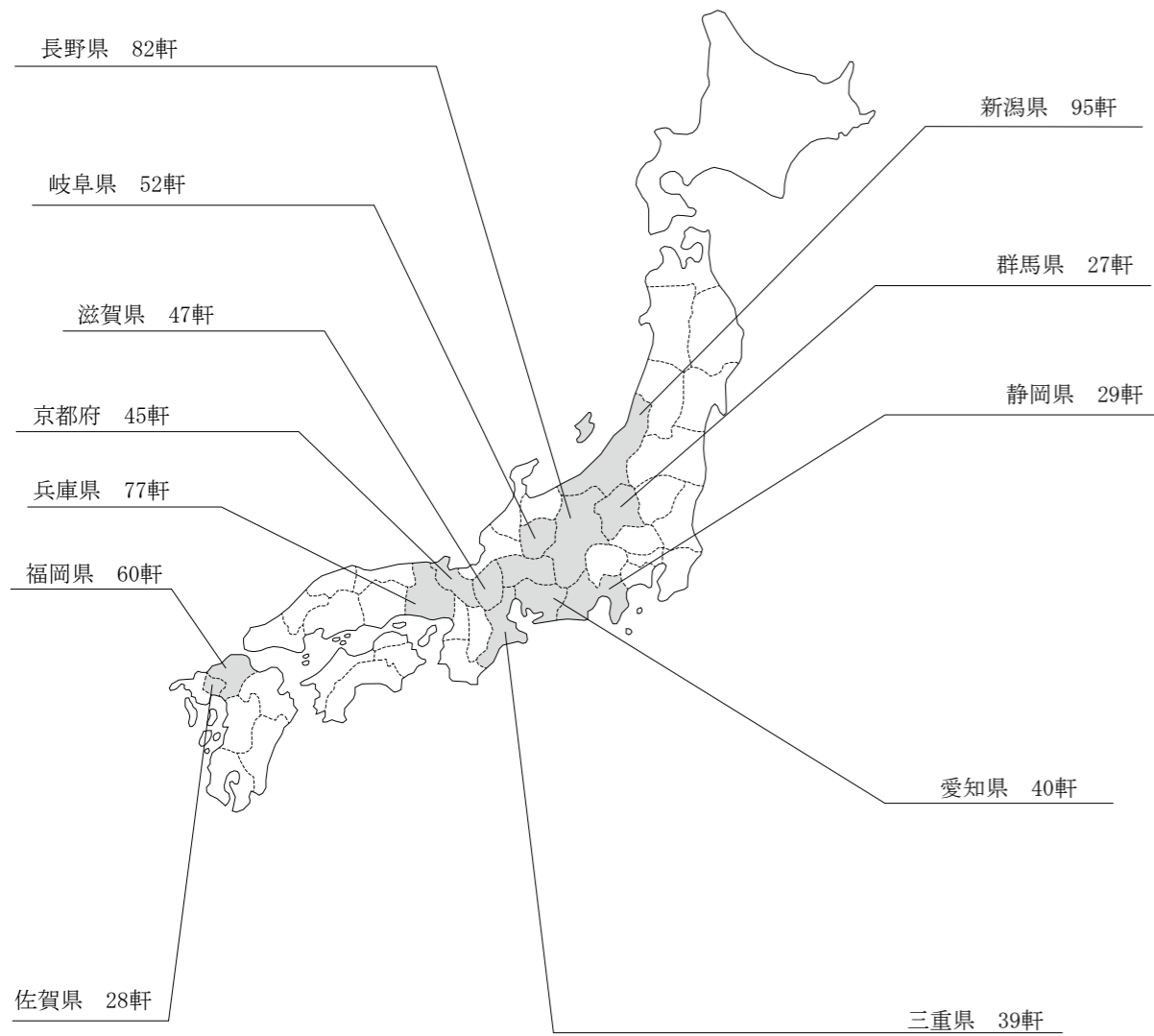


**外観調査の対象**

実地調査として、12府県において写真撮影による外観調査を行った。

アンケート調査の結果を元に、以下12府県を対象とする。

- 関東・甲信越地方：群馬県・長野県・新潟県
- 東海地方：愛知県・岐阜県・三重県・静岡県
- 近畿地方：滋賀県・京都府・兵庫県
- 九州地方：福岡県・佐賀県



**内観調査とヒアリングの対象**

外観調査を行った事例のうち、内部を見せていただける酒造において内部調査とヒアリングを行った。

以下、各事例の詳細を示す。

表1-1 実測調査概要一覧

No.	酒造名	都道府県	所在地	No.	酒造名	都道府県	所在地
01	池浦酒造株式会社	新潟県	長岡市両高 1538	30	笑四季酒造株式会社	滋賀県	甲賀市水口町本町 1-7-8
02	柏露酒造株式会社		長岡市十日町字小島 1927	31	美富久酒造株式会社		甲賀市水口町西林口 3-2
03	頸城酒造株式会社		上越市柿崎区柿崎 5765	32	北島酒造株式会社		湖南省針 756
04	石塚酒造株式会社		柏崎市高柳町岡野町 1820-2	33	竹内酒造株式会社		湖南省石部中央 1-6-5
05	今代司株式会社		新潟市中央区鏡が岡 1-1	34	暁酒造有限公司		野洲市小篠原 1389
06	笹祝酒造株式会社		新潟市西蒲区松野尾 3249	35	古川酒造有限公司		草津市矢倉 1-3-33
07	株式会社今井酒造店	群馬県	太田市鳥山中町 746-2	36	有限会社平井商店		大津市中央 1-2-33
08	山川酒造株式会社		邑楽郡千代田町大字赤岩 185-3	37	松山酒造株式会社	京都府	京都市伏見区東堺町 472
09	山崎酒造株式会社		太田市新田木崎町 966	38	玉乃光酒造株式会社		京都市伏見区東堺町 545-2
10	善哉酒造株式会社	長野県	松本市大手 5-424	39	株式会社山本本家		京都市伏見区上油掛町 36-1
11	岩波酒造合資会社		松本市里山辺 5159	40	株式会社北川本家		京都市伏見区村上町 370-6
12	合名会社亀田屋酒造店		松本市島立 2748	41	株式会社増田徳兵衛商店		京都市伏見区下鳥羽長田町 135
13	笑亀酒造株式会社		塩尻市塩尻町 140	42	太陽酒造株式会社	兵庫県	明石市大久保町江井島 789
14	麗人酒造株式会社		諏訪市諏訪 2-9-21	43	江井ケ嶋酒造株式会社		明石市大久保町西島 919
15	伊東酒造株式会社		諏訪市諏訪 2-3-6	44	茨木酒造株式会社		明石市魚住町西岡 1377
16	酒ぬのや本金酒造株式会社		諏訪市諏訪 2-8-21	45	石蔵酒造株式会社	福岡県	福岡市博多区堅粕 1-30-1
17	平和錦酒造株式会社	岐阜県	加茂郡川辺町下麻生 2121	46	有限会社白糸酒造		糸島市本 1986
18	有限会社松井屋酒造場		加茂郡富加町加治田 688-2	47	瑞穂錦酒造株式会社		久留米市大善寺町藤吉 940
19	株式会社小坂酒造場		美濃市 2267	48	池亀酒造株式会社		久留米市三潁町草場 545
20	株式会社三千盛		多治見市笠原町 2919-1	49	旭菊酒造株式会社		久留米市三潁町老町原 403
21	岩村醸造株式会社		恵那市岩村町 342	50	筑紫の誉酒造株式会社		久留米市城島町青木島 181
22	富士高砂酒造株式会社	静岡県	富士宮市宝町 9-25	51	五町田酒造株式会社	佐賀県	嬉野市塩田町大字五町田甲 2081
23	株式会社土井酒造場		掛川市小貫 633	52	矢野酒造株式会社		鹿島市大字高津原 3903-1
24	盛田金しゃり酒造株式会社	愛知県	半田市亀崎町 9-112	53	富久千代酒造有限公司		鹿島市浜町 1244-1
25	神の井酒造株式会社		名古屋市長区大高町字高見 25	54	幸姫酒造株式会社		鹿島市古枝甲 599
26	山盛酒造株式会社		名古屋市長区大高町字高見 74	55	井手酒造株式会社		嬉野市嬉野町大字下宿乙 806-1
27	青木酒造株式会社		愛西市本部田町本西 60	56	合名会社松尾酒造場		西松浦郡有田町大木宿 617
28	合資会社早川酒造部	三重県	三重郡川越町高松 829	57	松浦一酒造株式会社		伊万里市山代町楠久 312
29	伊藤酒造株式会社		四日市市桜町 110				

---

## 第1章 序

### 1-4. 論文構成

---

本研究の構成を図 1-1 に示す。

本章では、本研究に至った背景とその目的を述べると共に、結論を導くための研究手法と研究対象を述べる。

第2章では、日本酒の基礎知識や日本酒業界の変遷を文献や既往研究などから把握し、研究の土台とする。

第3章では、全国の酒造に送付した酒蔵に関するアンケート結果によって現在の酒蔵の現状をまとめ、考察を行う。

第4章では、前章でのアンケート結果に基づいた実地調査とヒアリング調査に関して述べる。その後、酒蔵の保存活用について、実地調査とヒアリングに基づいて考察を行う。

第5章では、本研究のまとめと今後求められる課題を挙げる。

付録となる資料編では、本研究に用いた調査資料やご返信していただいた各酒造のアンケートをま

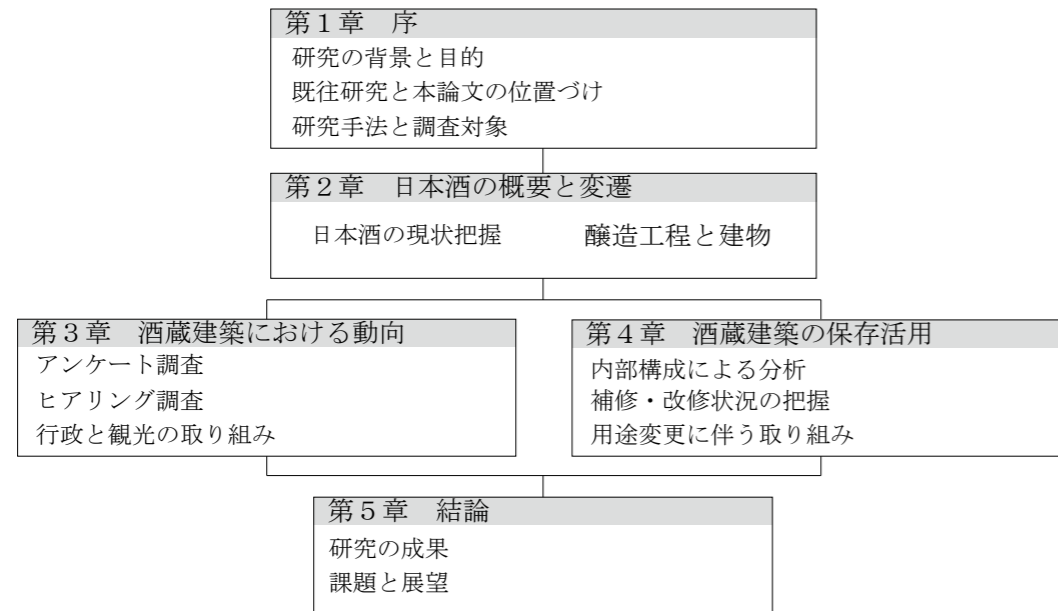


図 1-1 論文構成

第2章

## 日本酒の概要と変遷

---

日本酒業界の変遷

醸造工程と建物

第2章 日本酒の概要と変遷

2-1. 日本酒業界の変遷

酒蔵家の推移

全国酒蔵家の創業年の推移を以下のグラフに示す。

最初のピークは江戸時代前期で、次に中期の享保・宝暦・寛政、及び文化と続くが、各ピークとも創業数はそれほど多くはない。

しかし、江戸時代後期は幕末になるほど創業数が増加し、最大のピークとなっている。さらに、その後の明治中期には第二の大きなピークがあり、明治時代が酒造創業の最盛期といえる。そこを最後のピークとし、その後大正時代後半から昭和戦前にかけて創業数は減少傾向にある。

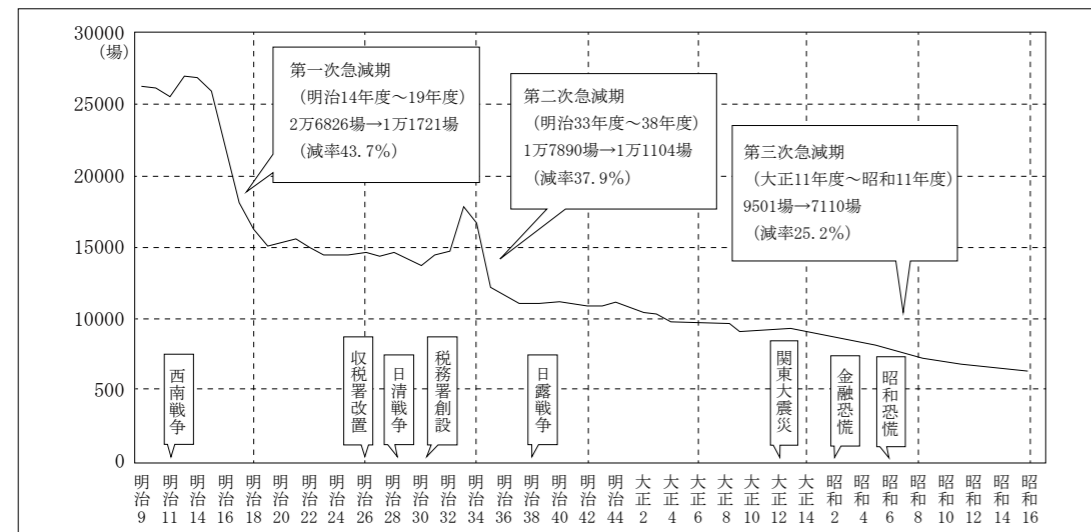


図2-1 酒蔵家創業年から見る変遷

以下の表は、酒造家の創業年を年代別に区分したものである。

2015年を起点としてみると、酒造暦400年以上、すなわち江戸時代以前に創業した酒造家は18場と少ない。しかし、酒造暦300年以上から140年以上の江戸時代の創業は、合計で762場となり、全数の40%を超える。これに酒造暦100年以上となる明治時代創業の667場を加えると全数の80%となり、さらに大正時代創業の168場を加えると90%にも及ぶ。

これより、全酒造家のうち、80%以上が創業100年以上の歴史を有しており、日本酒における酒造家の老舗度具合は極めて高いといえる。

表2-1 酒造歴別酒造家数

年代	酒造家数(場)	占有率(%)	酒造歴(年)
江戸時代以前 (~1600)	18	1.0	400年以上
江戸時代前期 (1601～1700)	116	6.5	300年以上
江戸時代中期 (1701～1800)	220	12.3	200年以上
江戸時代後期 (1801～1867)	426	23.8	140年以上
明治時代 (1868～1912)	667	37.3	100年以上
大正時代 (1913～1926)	168	9.4	85年以上
昭和戦前 (1927～1945)	59	3.3	70年以上
昭和戦後 (1946～1988)	94	5.3	25年以上
平成時代 (1989～2014)	20	1.1	—
合計	1788	100.0	—

## 酒造りの変遷

日本酒の酒造り開始は、BC300～200年頃に遡る。一年に一度仕込みをする寒造りが主流とされ、ついに江戸時代の1673年には寒造り以外の醸造が禁止されるまでとなった。しかし、その後明治時代に入り、一年を通して仕込みを行い、日本酒の生産増加を図る「四季醸造」実現の可能性に向けて動き始めるようになる。まず始めに実施されたのは、明治37年創設の醸造試験所である。醸造試験所の設置項目には、日本酒の品質及び醸造方法の改良のため「四季醸造の途を開くこと」が掲げられていた。しかし、四季醸造の実現のためには、杜氏の手労働に大きく依存している酒造りにとって機械の利用が求められた。ここから、日本酒の酒造りの機械化が始まるのである。日本経済が復興期から高度経済成長期に移行する頃から、日本酒造りの機械化が急速に加速し、全国的に広がっていった。

以下に、詳細を示す。

表2-2 酒造り機械化年表

年代	開発器具名
明治40年	送風式製麹機の開発
明治41年	堅型精米機の開発
昭和初期	ホーロータンク・醸造冷蔵設備の開発
昭和30年	連続式蒸米機の開発
昭和31年	自動製麹機・蒸米放冷機の開発
昭和38年	自動圧濾圧搾機（藪田式・大倉式）の開発
昭和40年	密閉式ステンレスタンク導入・エポキシ樹脂ライニングタンクの二重タンクによる温度制御と大型化を実現・密閉式角型醗酵タンクの開発

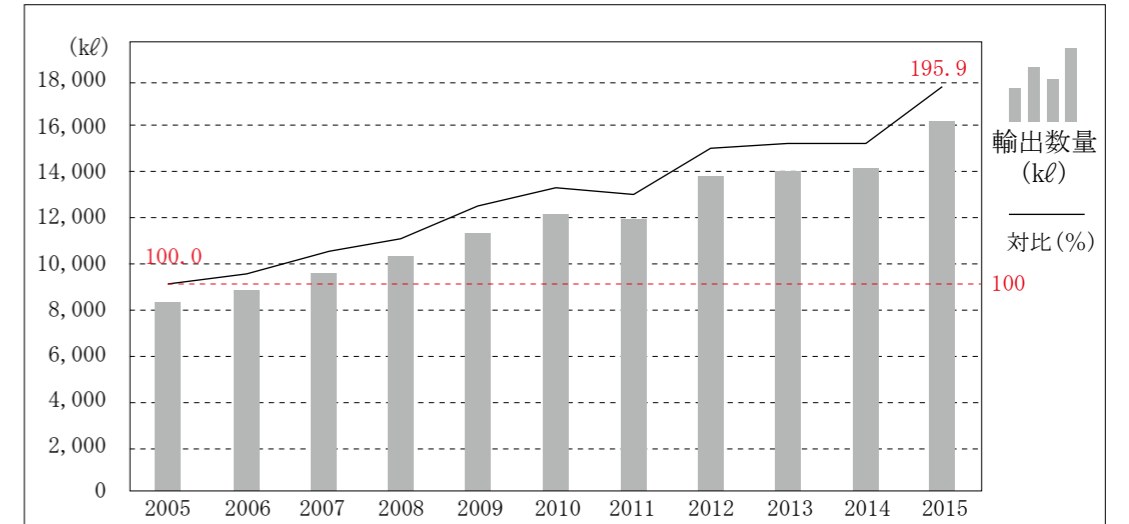
四季醸造の開始は、伏見が最も早く、昭和37年に一社、翌年の昭和38年には灘で二社が四季醸造を実現させた。灘で四季醸造を行う一社の場合、一日当たりの製造数は200石で、年間300日稼働させるとすれば、六万石の日本酒を造ることができる。さらに従業員は午前6時から午後3時までの完全8時間労働となり、全工程における稼働人数は従来の三分の一に抑えることができる。これにより、日本は酒造労働の条件面でも近代化を達成したといえる。

## ■海外市場への拡大

近年、ワインをはじめとする多くの酒類が日本へと輸入され、その市場はさらに拡大されつつある。その一方で、日本の國酒である日本酒も海外へと輸出され、現在その市場は国内にとどまらない。

下記の表は、2005年から2015年にかけての日本酒海外輸出量を示したものである。

2005年の8,270kℓから2015年の16,202kℓと、約10年の間に倍増しており、日本酒海外市場は急成長を遂げているといえる。



資料：「酒類の輸出統計」（国税庁）

図2-2 日本酒輸出量

また、海外に向けての日本酒振興において、近年の政策面にも大きく変化が表れている。

具体的には、クールジャパン推進の一環として2013年に内閣官房にて発足された「日本産酒類の輸出促進連絡会議」が挙げられる。

以下に、同連絡会議の詳細を示す。

表2-3 日本産酒類の輸出促進連絡会議

日本産酒類の輸出促進連絡会議	
目的	クールジャパン推進の一環として、國酒をはじめとした日本産酒類の総合的な輸出環境整備について関係省庁が連絡調整を行う。
構成員	[議長] クールジャパン戦略担当大臣を補佐する内閣府大臣政務官 [構成員] 内閣官房内閣審議官、内閣官房内閣広報官、内閣官房知的財産戦略推進事務局長、内閣府大臣官房総括審議官、内閣府沖縄振興局長、総務省地域力創造審議官、外務省経済局長、国税庁長官官房審議官、文化庁長官官房審議官、農林水産省食料産業局長、経済産業省商務情報政策局長、観光庁次長

2-2. 醸造工程と建物

日本酒の醸造工程

日本酒は米を発酵させて造られる醸造酒で、ビールやワインと共に世界の三大醸造酒と言われている。ビールは麦、ワインはブドウを原料とし、それぞれ約5%、約10%のアルコールを含む。それに対し、日本酒は麹菌と酵母という2つの主要な微生物を用いて糖化と発酵を同時に行う並行複発酵と呼ばれる発酵形式によって20%を越える高濃度のアルコールが生成されるという点でも世界で最も複雑で洗練された発酵技術であるといえる。以下にその概略を示す。

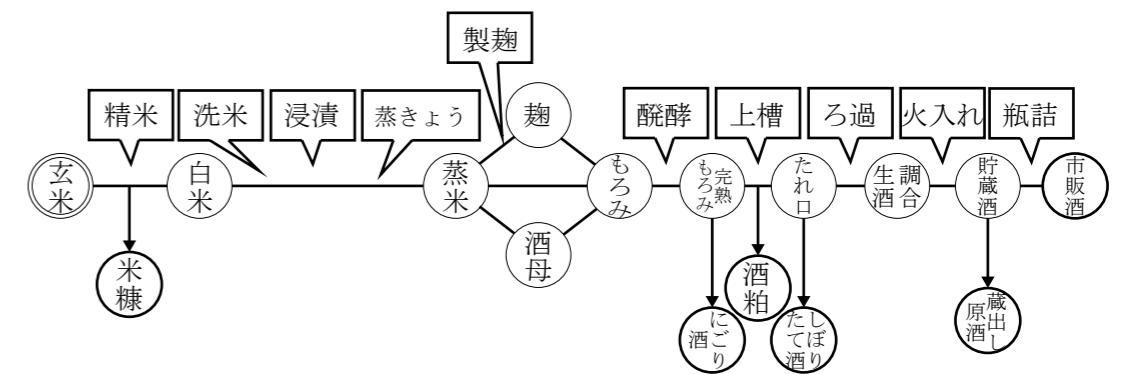


図2-5 醸造工程概略図

## I. 原料処理工程

### i) 精米

玄米の外側には、タンパク質、脂肪、無機質などが多く含まれており、これらが多いとお酒の味や香り、色に悪影響を与えてしまう。そこで酒造りでは、玄米の外側を25～50%削り取って精米して白米にする。この工程は「米を磨く」といわれる。精米機の金剛ロールの回転数、抵抗等を調節して胚芽や溝が残らないように、そして玄米と同じ原形に近い形に仕上がるように6時間以上もかけて注意深く行なわれる。

30年程前までは、大吟醸の精米のためには精米師が丸二日以上精米機につきっきりで回転数などを変化させて連続運転しなくてはならなかったため吟醸酒用の精米は大変な作業であった。しかし、最近では回転数などを最適なプログラムに従って制御できるコンピューター付きの精米機の登場により、精米工程は容易なものとなった。

### ii) 洗米

玄米を精米した後の白米は蒸してから酒造りに使用するが、その前に水洗いして表面の糠やゴミなどを取り除く必要がある。この工程が洗米である。水で米を洗うため、米に含まれるカリウムやタンパク質、デンプンなどが流れ出ると同時に、米の重量の10～20%の水が米に吸収される。

### iii) 浸漬

洗米後は白米をタンクに移して、新しい水を加え、水に漬けて水分を吸収させる。この工程を浸漬という。浸漬する時間は米の種類、性質、使用目的によって異なり数分間で終了するものもあれば1日かけて行うものもある。そして一定時間浸漬した後、タンクから水を排出し、水切りをする。



図2-6 精米機



図2-7 浸漬工程

### iv) 蒸きょう

浸漬した後、水分を含んだ白米を蒸気で蒸す工程を蒸きょうという。蒸すことで米粒内のデンプン組織を壊し、麹菌の繁殖や酵素の作用を受けやすくすることができる。また、この工程によって米は水に溶けやすくなると共に白米の殺菌も行えるため、後の醸造工程の汚染予防にもつながる。蒸きょうによって生成された蒸米の良否は、後の工程や酒質に大きな影響を与えるため、粘り気のないものに仕上げるのが重要となる。蒸きょう設備には、昔から使われている「甑」と呼ばれる蒸し器と、米を連続的に移動させて蒸す「連続蒸米機」がある。

蒸きょう後は、麹用、酒母用、そしてモロミに使う掛米用など、それぞれの目的に応じた温度まで冷ます。この工程を放冷という。放冷の仕方には、布を敷いたムシロヤスノコの上に蒸米を広げ、外気にさらす昔ながらの手法と、放冷機を用いて蒸米に強制定に空気を通して冷ます方法とがある。

## II. 仕込み工程

### i) 製麹

麹とは蒸米に麹菌を繁殖させたもので、「米麹」ともいう。これをつくる作業を「製麹」といい、温度と湿度を調整できる「麹室」という部屋で行われる。製麹の工程は、引き込み、床もみ、切り返し、盛り、仲仕事、仕舞仕事、出麹などに分かれる。

【引き込み】 放冷した蒸米を麹室に入れ、広げた蒸米を状態によってひっくり返したりする。

【床もみ】 蒸米の温度や水分が均一になったら、床の上に広げた蒸米に種麹を振り掛けよく混ぜる

【切り返し】 床もみが終わって約10時間経過すると積み上げた蒸米の外部と内部の水分差が大きくなる上、蒸米が互にくっついてしまう。そこで蒸米の温度と水分を一定にすると共に内部に酸素を供給するために塊を崩してほぐす。

【盛り】 切り返し後そのまま放置しすぎると麹菌の過度な増殖によって発熱が起こり正常な製麹ができないため、蒸米をもみほぐし、温度調節をしやすくするために少量ずつに分ける。

【仲仕事・仕舞仕事】 蒸米を良く混ぜて温度と水分を均一にし、蒸米層の厚さをより薄くする。

【出麹】 麹の見た目と香りから麹の出来上りを判定し、製麹作業を終了して器から取り出す。



図2-8 蒸米工程



図2-9 製麹工程

## ii) 酒母

酒のアルコールは酵母の動きによってつくられるが、この酵母を大量培養したものを「酒母（酏）」という。これをつくるのが酒母工程である。

## iii) 醱酵

酒母、麴、蒸米、水を醱酵タンクに投入して醱酵させる。この工程によってつくられるものを「醪」という。酒この作業は、酒造りにおいて主に「仕込み」と呼ばれる工程である。仕込みは通常は「三段仕込」といい、酒母に麴、蒸米、水を「添（そえ）」「仲（なか）」「留（とめ）」の3回に分けて仕込む。これによって、雑菌汚染を防ぎながら4～5%のアルコール濃度で酵母を繁殖させることでより強い酵母菌をつくることができる。



図2-10 仕込み倉内部



図2-11 仕込み工程

## III. 貯蔵工程

### i) 上槽

醪の醱酵が終了に近づき、アルコール度数が約20%になると酵母は発酵を停止する。それをそのまま放置してしまうと着色や雑味の原因となってしまうため、醪を酒袋に詰めて槽で搾ったり、自動圧搾機を用いて清酒と酒粕に分ける。この工程を上槽という。

### ii) ろ過

滓引きした清酒をろ過機でろ過することによって、脱色し、着色を防ぐ工程をろ過工程という。滓引きをしても清酒にはまだ雑味の成分や品質劣化の原因物質が残っている。これらを活性炭に吸着させてろ過し、品質を安定化させるのが目的である。

### iii) 火入れ

上槽したままの酒はろ過後であっても酵素が活性であるため、そのままでは熟成が急速に進み、酒の品質が低下してしまう。そこで、清酒の中の酵素を破壊するために加熱する工程を火入れという。火入れをしていない清酒は生酒と呼ばれる。

火入れされた清酒は貯蔵タンクに移され、貯蔵される。

## IV. 製品化工程

### i) 瓶詰

全ての工程を終え、市販酒の規格になった酒は瓶詰される。瓶詰の際、生酒以外は火入れと呼ばれる低温殺菌を行う。約65℃に熱した酒を詰める熱酒瓶詰法と、瓶詰してから約65度に熱する瓶火入れ法がある。清酒を熱すると風味の変化が急速に進んでしまうため、熱した後はシャワーなどで速やかに常温まで冷却する。



図2-12 葛田式圧搾機



図2-13 瓶詰機による瓶詰工程



## 各建物の基礎知識

前項にて日本酒の醸造工程を示したが、これは原料である米中心の流れを示したものである。この工程を把握した上で、酒蔵において蔵人がどのように動き、生活を営んでいるかを分類・整理する。

酒蔵の有する建物は、直接生産に関わる「生産部門」と直接生産に関わらない「管理部門」の大きく二つに分類される。また、各部門において行われる工程は酒倉内での仕事と作業建物内での仕事に分けられる。以下に、各部門、建物ごとの分類を示す。

表2-4 各部門別建物分類

管理部門	主屋（経営者の住居）・事務所・販売店舗・蔵人の宿舎
生産部門	酒倉（仕込み倉・貯蔵倉）・米倉・作業用建物

表2-5 各建物別工程分類

酒倉内	酛造り・醪造り・圧搾・滓引き・ろ過 火入れ・貯蔵・麴造り
作業用建物内	原料処理（精米・洗米・浸漬・蒸し米） 米の貯蔵・瓶詰・製品貯蔵・ラベル貼り・木桶の修理

### 【管理部門】

#### i) 蔵人のひろしきと宿舎

蔵人の仕事は早朝から深夜にわたる作業の連続であり、冬期の仕込み時期には酒蔵に泊まり込んで作りを行うのが一般的である。そのため、仕込み倉内には蔵人や杜氏が休憩と寝泊りをするひろしきが設けられている。また、大手の酒造になるほど、ひろしきとは別に蔵人が寝泊りする宿舎を敷地内に設けていることが多い。

### 【生産部門】

#### i) 仕込み倉

仕込み倉の中で行われる作業は日本酒醸造工程の中心となる部分で、醸造工程の大半を占める。仕込み倉は2階建てが普通であるが、全国各地に平屋建ても見られる。その広さと構造は、気候の違いや町中か郊外化という立地条件の違いと、年間の製造量によって異なる。2階建ての仕込み倉では、1階に仕込み桶を置き、2階床に穴を開けて2階から仕込みを行う。平屋の場合は1階に桶を置き、梯子を使って仕込みを行うのが一般的である。

#### ii) 貯蔵倉

仕込みを終えた日本酒を出荷まで貯蔵しておくための倉である。その貯蔵方法は、ホーロータンクに入れて大量保存するタンク貯蔵と瓶詰までした上で保存する瓶貯蔵とに分けられる。通常は温度の低い空間で貯蔵を行う必要があるため、昔から土蔵によって温度管理が行われていた。

#### iii) 米倉

米倉は、酒造りの始めに行われる精米と米の貯蔵のための倉である。精米は、明治30年代に摩擦式精米機が導入されるまでは人力で行われていた。昭和5年頃からは堅型精米機が普及したことによって精米機の高さが高くなり、従来の建物の高さでは設置できないことが多いので精米倉の新築や建物の改修が行われることが多くなった。しかし、昭和50年代以降合理化を迫られた酒造は精米業者への委託や都道府県内での共同精米によって賄っており、現在の米倉の活用法は不明である。

#### iv) 作業用建物

仕込み倉に隣接した作業用建物には洗米、浸漬タンク、釜等の原料処理場がある。精米した米を洗い、水分調整して蒸米に加工する場所である。蒸し米を作るにあたって多量の水蒸気が発生するため、越し屋根や高窓を設けることで換気がしやすいつくりになっている。



図2-14 仕込み倉2階



図2-15 麴室内部



図2-16 貯蔵倉内部

2-3. 小結

---

日本酒の酒造りは、大正時代まで全て蔵人による手作業により行われてきた。しかし、日本経済が復興期から高度経済成長期に移行する頃から機械化が急速に加速し、それとともに日本酒の生産量は過剰生産の時代に突入していった。そして、1973年をピークに、現在に至るまで増減を繰り返しながら減少を続けている。

酒造りを内包する酒蔵建築は100年以上の歴史を刻みながら、如何にして生産量の増減、酒造りの機械化にその在り方を対応させていったのか。その姿を探る必要がある。

## 酒蔵建築における動向

---

アンケート調査

ヒアリング調査

行政による支援

観光に向けた取り組み

第3章 酒蔵建築における動向

3-1. アンケート調査

アンケート送付先

酒蔵に関するアンケート調査を行った。アンケートの送付先は、「1-3-2. アンケート調査の対象」で述べた通り47都道府県の酒造1563軒である（表3-1）。

表3-1 アンケート送付先

	北海道	青森県	岩手県	秋田県	山形県	宮城県	福島県	栃木県	群馬県	茨城県	千葉県	埼玉県	東京都	
送付数	13	21	23	39	54	29	65	34	27	45	35	35	9	
神奈川県	山梨県	長野県	新潟県	富山県	石川県	福井県	静岡県	岐阜県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	奈良県	和歌山
13	14	82	95	20	36	39	29	52	40	39	47	45	39	21
大阪府	兵庫県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	大分県
14	77	18	34	53	51	31	25	7	45	18	60	28	16	31
熊本県	宮崎県	鹿児島	沖縄県									合計		
11	2	1	1											

アンケート内容

今回のアンケート調査を行うにあたって、戦前に建設された酒蔵の有無などを尋ねた。戦前に建設された酒倉が現存しているかを聞き、現存している場合は、その酒倉について建設年、現在の用途、図面の有無などを聞いた。また、すでに補修または改修を行っている場合、どの箇所について工事を行ったかも項目に加えた。

以下、各アンケート調査の概要を示す（表3-2）。

表3-2 アンケート概要

対象	日本酒酒造（新潟県）		
送付数	95 通		
送付日	平成 25 年 7 月 8 日～		
回収数	45 通	回収率	47.4%
アンケート項目	1. 戦前までに建設された酒倉はありますか。 →現在、どのように利用されていますか。 2. 貴社が保有している倉は、以前に建て替えや用途変更は行っていますか。 3. 国、県、市町村の文化財や景観重要建造物などとして指定・登録されていますか。 4. 貴社の酒蔵を見学させていただき、保有する酒蔵に関してヒアリングをさせていただくことは可能ですか。		

対象	日本酒酒造（新潟県を除く 46 都道府県）		
送付数	1468 通		
送付日	2015 年 7 月 16 日～		
回収数	707 通	回収率	48.2%
アンケート項目	1. 戦前までに建設された酒倉はありますか。 →現在、どのように利用されていますか。 2. 貴社が保有している倉は、以前に補修または改修を行っていますか。 →補修・改修箇所をお書き下さい。 3. 国、県、市町村の文化財や景観重要建造物などとして指定・登録されていますか。 4. 仕込み倉について、貴社に近いものを選択して下さい。 5. 酒蔵の配置について、貴社に近いものを選択して下さい。 6. 酒蔵の設計図・実測図などは現存していますか。 →その設計図・実測図を見せていただく、貸していただくことは可能ですか。 7. 貴社の酒蔵を見学させていただき、保有する酒蔵に関してヒアリングをさせていただくことは可能ですか。		

## アンケートの回答結果

47都道府県の酒造に合計1563通送付し、752通の回答（メール回答含む）が得られた。回収率は48.1%である。

## アンケート結果分類

### I. 地方別建設年代一覧

アンケート結果から、各地方ごとに分類を行った。戦前に建設されたものを中心に、全国で合計681棟の酒倉が確認できた。現存する中で江戸時代に建設されたものが最も古く、134棟が確認できた。明治時代が最も多く、231棟となっている。これは、図にも示したように、明治時代が酒造創業の最盛期であったためと考えられる。

また、木造蔵はその時代によって小屋組に特徴がみられるため、建設年代が不明なものもある程度の時代区分は推定できると考えられる。

表3-3 地方別建設年代一覧

地方	建設年代	江戸時代	明治時代	大正時代	1926-1945 (昭和戦前)	1946-1988 (昭和戦後)	不明	合計
北海道・東北地方		17	49	31	12	9	8	126
関東地方		23	41	24	12	1	3	104
甲信越地方		9	17	13	4	2	1	46
北陸地方		6	8	13	6	1	3	37
東海地方		18	27	11	6	2	3	67
近畿地方		23	26	25	8	6	5	93
中国地方		9	32	22	9	4	7	83
四国地方		8	11	10	4	4	3	40
九州・沖縄地方		21	20	17	16	9	2	85
合計		134	231	166	77	38	35	681

## II. 地方別現用途一覧

アンケート結果により確認できた酒蔵を、戦前蔵を中心に現在の用途を地方別に分類した。分類結果を表に示す。ただし、“酒造り”は、主に仕込みに使用され、“作業場”は仕込み以外の工程に使用されているものとする。

全地方において、現在も酒造りに利用されている蔵の他にイベントスペース、販売店舗、飲食店舗、見学施設という新たな用途へと転用されている事例がいくつか確認できた。現在も変わらず酒造りに利用されているものが最も多く、400棟である。また、他用途への転用事例は合計75棟確認できた。なかでも観光客を対象とした展示スペースといった見学施設への転用が最も多く、28棟である。

用途転用の他に、物置としての利用が50棟、現在使用していない酒倉は17棟確認できた。物置に関しては、普段使用しないが廃棄することが困難な器具などを一時保管するものとして利用されており、ほぼ放置されている事例が殆どであった。

表3-4 地方別現用途一覧

地方	用途	酒造り	作業場	イベントスペース	販売店舗	飲食店舗	見学施設	物置	不使用
北海道・東北地方		68	8	1	6	3	5	8	2
関東地方		59	3	3	3	2	4	7	1
甲信越地方		29	0	0	5	0	5	4	0
北陸地方		33	0	0	0	0	0	0	1
東海地方		49	0	0	0	0	2	3	1
近畿地方		47	4	1	4	2	5	8	4
中国地方		49	0	4	2	1	2	8	5
四国地方		24	1	0	2	1	2	6	1
九州・沖縄地方		42	1	2	3	2	3	6	2
合計		400	17	11	25	11	28	50	17

## III. まとめ

現存する木造蔵の多くが未だに酒造りに利用されている。また、見学施設やイベントスペース、店舗など新たな用途へと転用されている事例もいくつか確認できた。しかしその一方で、ただの物置として利用されるものや、特に使い道がなく使用されていない事例も多くみられた。これらの結果により、以前は敷地に建てられた酒倉の全てが酒造りに使用されていたが、現在では敷地や酒倉そのものが余剰となっていることが分かる。近年の酒造業界の変化が醸造建築にも新たな変化をもたらしつつあるのではないかな。

これらのアンケート結果を基に、実地調査とヒアリングによってその変遷を明らかにする。

## 第3章 酒蔵建築における動向

### 3-2. ヒアリング調査

#### ヒアリング調査概要

アンケート調査の結果より、協力していただける酒造が多い1府11県を選定した。そのなかで57軒を対象にヒアリング調査を行った。

以下に、調査概要を示す。

表3-5 ヒアリング概要

対象	日本酒酒造 57軒
	新潟県、長野県、群馬県、静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、兵庫県、福岡県、佐賀県
質問項目	・酒造りに直接使用していない酒蔵の有無と利用法 ・補修・改修時に景観配慮は意識しているか ・集客や地域活性化のために行っている取り組みはあるか

#### ヒアリング調査対象

ヒアリングの調査対象57事例を以下に示す。

表3-6 ヒアリング調査対象

No.	酒造名	都道府県	所在地	No.	酒造名	都道府県	所在地
01	池浦酒造株式会社	新潟県	長岡市両高 1538	30	笑四季酒造株式会社	滋賀県	甲賀市水口町本町 1-7-8
02	柏露酒造株式会社		長岡市十日町字小島 1927	31	美富久酒造株式会社		甲賀市水口町西林口 3-2
03	頸城酒造株式会社		上越市柿崎区柿崎 5765	32	北島酒造株式会社		湖南省針 756
04	石塚酒造株式会社		柏崎市高柳町岡野町 1820-2	33	竹内酒造株式会社		湖南省石部中央 1-6-5
05	今代司株式会社		新潟市中央区鏡が岡 1-1	34	暁酒造有限会社		野洲市小篠原 1389
06	笹祝酒造株式会社		新潟市西蒲区松野尾 3249	35	古川酒造有限会社		草津市矢倉 1-3-33
07	株式会社今井酒造店	群馬県	太田市鳥山中町 746-2	36	有限会社平井商店		大津市中央 1-2-33
08	山川酒造株式会社		邑楽郡千代田町大字赤岩 185-3	37	松山酒造株式会社	京都府	京都市伏見区東堺町 472
09	山崎酒造株式会社		太田市新田木崎町 966	38	玉乃光酒造株式会社		京都市伏見区東堺町 545-2
10	善哉酒造株式会社	長野県	松本市大手 5-424	39	株式会社山本本家		京都市伏見区上油掛町 36-1
11	岩波酒造合資会社		松本市里山辺 5159	40	株式会社北川本家		京都市伏見区村上町 370-6
12	合名会社亀田屋酒造店		松本市島立 2748	41	株式会社増田徳兵衛商店		京都市伏見区下鳥羽長田町 135
13	笑亀酒造株式会社		塩尻市塩尻町 140	42	太陽酒造株式会社	兵庫県	明石市大久保町江井島 789
14	麗人酒造株式会社		諏訪市諏訪 2-9-21	43	江井ヶ嶋酒造株式会社		明石市大久保町西島 919
15	伊東酒造株式会社		諏訪市諏訪 2-3-6	44	茨木酒造株式会社		明石市魚住町西岡 1377
16	酒ぬのや本金酒造株式会社		諏訪市諏訪 2-8-21	45	石蔵酒造株式会社	福岡県	福岡市博多区堅粕 1-30-1
17	平和錦酒造株式会社	岐阜県	加茂郡川辺町下麻生 2121	46	有限会社白糸酒造		糸島市本 1986
18	有限会社松井屋酒造場		加茂郡富加町加治田 688-2	47	瑞穂錦酒造株式会社		久留米市大善寺町藤吉 940
19	株式会社小坂酒造場		美濃市 2267	48	池亀酒造株式会社		久留米市三潁町草場 545
20	株式会社三千盛		多治見市笠原町 2919-1	49	旭菊酒造株式会社		久留米市三潁町老町原 403
21	岩村醸造株式会社		恵那市岩村町 342	50	筑紫の誉酒造株式会社		久留米市城島町青木島 181
22	富士高砂酒造株式会社	静岡県	富士宮市宝町 9-25	51	五町田酒造株式会社	佐賀県	嬉野市塩野町大字五町田甲 2081
23	株式会社土井酒造場		掛川市小貫 633	52	矢野酒造株式会社		鹿島市大字高津原 3903-1
24	盛田金しゃち酒造株式会社	愛知県	半田市亀崎町 9-112	53	富久千代酒造有限会社		鹿島市浜町 1244-1
25	神の井酒造株式会社		名古屋市長区大高町字高見 25	54	幸姫酒造株式会社		鹿島市古枝甲 599
26	山盛酒造株式会社		名古屋市長区大高町字高見 74	55	井手酒造株式会社		嬉野市嬉野町大字下宿乙 806-1
27	青木酒造株式会社		愛西市本部田町本西 60	56	合名会社松尾酒造場		西松浦郡有田町大木宿 617
28	合資会社早川酒造部	三重県	三重郡川越町高松 829	57	松浦一酒造株式会社		伊万里市山代町楠久 312
29	伊藤酒造株式会社		四日市市桜町 110				

現在、酒造りに使用していない酒倉を所有していますか。

→所有している

使用していない酒倉の大小に関わらず、ほとんどの酒造が酒造りに使用していない酒倉を所有している。

その酒倉はどのように利用されていますか。

→アンケート結果同様、店舗や展示スペースなどいくつかの用途が挙げられた。それらは、大きく

i. 観光客対象

ii. 地域住民対象

iii. 不使用

の3つに分類することができる。

以下にヒアリング結果の一部を示す。

#### i) 観光客対象

・以前使用していた酒具などを展示する空間として利用しているが、ただ物を並べただけになってしまっている。

・自社の歩みや日本酒の歴史を伝える博物館として改修工事を行った。

・観光客が多いため、飲食店舗として再利用している。営業は外部に委託し、建物を貸している。

・観光用に展示スペースとしたが、アクセスしづらい場所にあるためか頻繁に利用はしていない。

#### ii) 地域住民対象

・居酒屋として利用している。大人数での宴会に利用されることが多い。

・酒倉の2階を年に数回利用し、落語家を呼んで落語会を開催している。それ以外は使用せず、ただの物置になってしまっている。

・大空間を利用し、イベントホールとしてたまにコンサート等を行っている。

#### iii) 不使用

・他の用途として利用したいとは思っているが、時間や費用がなく、手をつけられない。

・どのように利用すればいいかわからず、ただの物置になっている。

・しばらく放置しているのでそのうち取り壊す予定である。

時間や費用がなく手をつけれずにいるという声が大多数であった。

一方で、転用された事例に関しては、大きく手を加えずに利用することが可能なため、観光客を対象とした展示空間として利用することが多くみられた。

しかし、用途を転用して利用している事例の中でも、頻繁に利用されている事例は多く挙げられていない。その理由の一つとして、観光用として転用したものの、うまく集客が臨みずにいることが挙げられる。異なる立地状況において、その用途を検討する必要があるのではないか。

酒蔵の補修や改修をする際、周辺との調和など景観に配慮して行っていますか。

→はい

- ・景観重要建造物にしていされているため、補修や改修を行う際には必ず市に申請し、許可が下りた上で行っている。外観については細かい規定があり、格子の幅や色も指定されている。( )
- ・以前は屋根の上に銘柄を掲げた看板を設置していたが、景観規定により現在は取り外している( )
- ・外壁の補修をする際、通り沿いなど、人の目に入る部分は新しい板に張り替えを行う。人が余り通らない道沿いに関しては、板の上からトタンをかぶせて張っている。

→いいえ

- ・外壁に関しては、木の板だと何度張りかえても雨風によりすぐに傷んでしまうため、現在はトタンにしている。
- ・以前と同じまま保ちたい気持ちはあるが、耐久性や手間を考えるとそこに時間や費用をかける余裕がない。

観光客集客や地域活性化のために、何か行っている取り組みはありますか。

→ある

- ・酒蔵ツアーに協力し、大型バスなどの受け入れを行っている。
- ・酒蔵ツアーの受け入れ先として観光客に案内をしている。
- ・特に大きなことは行っていない。買いに来るのは、地元住民が多い。
- ・市の団体から酒蔵スタンプラリーなどの話がきたので、参加している。

### 3-3. 行政による支援

3-2では、対象とした酒造にヒアリングを行い、酒蔵の補修や改修をする際の景観配慮について把握した。その結果、酒蔵の外観や保存には景観規制が大きく関係していることが明らかとなった。本項では、二つの地域を例に、把握した規制の内容や助成制度を調査する。

#### 【京都市】

##### ①歴史遺産型美観地区 伏見南浜界わい景観整備計画

###### 景観の特性

洗練された意匠を持つ小規模な町家と、伏見の伝統的産業の酒造業の振興によって生まれ、材質及び意匠ともに優れた大規模な酒蔵などの建造物により形成される。これらが好対照を見せて建ち並び、近世から近代にかけて活況を呈した商都のたたずまいを今に伝えている。

特に酒蔵は、大規模な建造物でありながら、妻面が見せる深みのある陰影、しっくい壁、焼き板壁及び瓦屋根などが独自の風情を醸し出し、酒どころとして近代から今日まで生き続けている伏見の人々の気概をうかがわせている。また、この地区には、多彩な地場産業や店舗、飲食店、業務施設が混住し、にぎわいのある景観を形成しながらも、多くの市民の暮らしの空間である住宅と共存し、用途や様式の異なる建造物が、まとまりのある界わい景観の特性を示している。

###### 助成金

補助の対象は、界わい景観整備地域内において、外観のうち道路その他の公共の場所から見える部分の修理・修景とされる。ここでは、補助率が2/3、その様式によって最大600万円の補助を受けることができる。

表3-7 歴史遺産型美観地区 助成制度

	界わい景観整備地区		景観重要建造物
対象建造物	重要界わい景観整備地域内		指定建造物
補助対象経費	外観のうち、道路その他の公共の場所から見える部分の修理・修景		外観の修理や修景及び外観の保持に必要な構造補強等
補助率	地区様式	準様式	2/3
	2/3	2/3	
補助金上限額(万円)	600	300	1,000
根拠法等	京都市市街地景観整備条例		景観法

## 地区の範囲

この地区は、南北は油掛通から宇治川派流まで、東西は京町通から濠川西側沿いの堤道路までの範囲の、伏見美観地区のうちのまとまりのある街並み景観を示す。また、この地区に存する建造物のうちの一部は、界わい建造物に指定されている。

## 形態意匠の制限

### i) 屋根

- ・日本瓦及び平板瓦は、原則としていぶし銀とすること。
- ・銅板は、素材色または緑青色とすること。
- ・銅板以外の金属板及び他の屋根材は、原則として光沢のない濃い灰色、光沢のない黒とすること。

### ii) 外壁等

- ・建築物の外観は、当該地区内の歴史的な建造物と調和する形態意匠とすること。
- ・道路及び河川に面する外壁は、和風を基調とする形態意匠とすること。また、その他の外壁についてもこれと調和するよう配慮すること。

### iii) 屋根以外の色彩

- ・歴史的町並みと調和する色彩とすること。

### iv) その他

- ・敷地が河川に面する場合は、河川に沿って塀または生垣等を設置するなど、水辺の景観に配慮すること。

## ②景観重要建造物

建造物の増築や改築、移転、除却、外観の変更を伴う修繕や模様替え、色彩の変更を行う場合には市長の許可が必要となる。

## 助成金

補助の対象は、指定された建造物における外観の修理や修景及び外観の保持に必要な構造補強等となる。ここでは、補助率が2/3、最大で1000万円の補助を受けることができる。

表3-8 景観重要建造物助成制度

	界わい景観整備地区		景観重要建造物
対象建造物	重要界わい景観整備地域内		指定建造物
補助対象経費	外観のうち、道路その他の公共の場所から見える部分の修理・修景		外観の修理や修景及び外観の保持に必要な構造補強等
補助率	地区様式	準様式	2/3
	2/3	2/3	
補助金上限額(万円)	600	300	1,000
根拠法等	京都市市街地景観整備条例		景観法

## 【岐阜県】

### 重要伝統的建造物保存地区（恵那市岩村町本通り）

所在地：恵那市岩村町

選定年月日：平成10年4月17日

岩村町本通り伝統的建造物群保存地区は、商家町として特色ある歴史的景観を良好に伝えている。その町並の形成過程において、保存地区のほぼ中央に位置する榊形より東側と西側の大きく二つに分けられる。東側の建物は江戸時代に建設されたものが多く、主屋のほとんどは木造二階建切妻造、平入、棧瓦葺きで、厨子二階であるものも多く、全体として軒の低い町並みとなっている。西側の建物は、明治以降の切妻、平入、棧瓦葺きで、本町地区に比べて全体に軒高の高い木造二階建のものが多

## 助成金

昭和戦前以前の建造物で、今後も保存していくことに所有者から同意をいただいているものを「伝統的建造物」とし、それ以外の建造物とで補助の内容が異なる。伝統的建造物に対して行う工事を「修理」、その他の建造物に対して行う工事を「修景」としている。

下記に示す事例の補助は修理に当てはまり、補助率が4/5、最大で600万円の補助金が交付される。

表3-9 重要伝統的建造物保存地区 助成制度

	修理	修景
対象建造物	伝統的建造物 (所有者の同意を得た建物)	伝統的建造物以外の建物
補助率	4/5	3/5
補助金上限額(万円)	600	400
交付基準	原則、痕跡を調査し、復原する。既存の部材をできる限り保存活用する。	周囲の伝統的建造物と調和の取れた外観とする。

文化財や景観重要建造物に指定されている酒蔵や、周辺地区が伝統的建造物保存地区、美観地区などに指定されている酒蔵が存在する。それらの事例は、行政によってその修理や修景においてある程度の制限をうけており、それにより主に外観の補修や改修費用の一部が補助されている。建物の維持管理を行う意識が生まれ、さらに、ある程度の補助を受けることで外観を中心に十分な補修や改修がされやすく、街の景観が保たれているといえる。

しかしその一方で、工事の申請をしてから許可が下りるまでにある程度の期間を要するため、不便な点も多いなどという声が挙げられた。これらの体制の在り方を見直し、補助金だけにとどまらず蔵元や周辺住民らの意識をいかに向上させるかが課題として挙げられるのではないかと。



### 3-4. 観光に向けた取り組み

3-2では、対象とした酒造にヒアリングを行い、集客や地域活性化を目的とした取り組みについて把握した。本項では、二つの地域を例に、ヒアリングにより明らかにした取り組みの詳細を示す。

#### 【佐賀県鹿島市】

佐賀県鹿島市では、市内で製造される酒類と地域が持つ文化や歴史を合わせ国内外へと情報発信するとともに、鹿島へ来訪してもらうためにあらゆる取組みを行っている。これにより、蔵元だけでなく鹿島市の地域全体への活性化に寄与することを目的としている。また、全国に先駆けて「鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会」を設立し、「鹿島酒蔵ツーリズム」を推進している。

#### 実施主体・体制

鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会

会 員：市内6酒造

賛助会員：市内3酒造、市外3酒造、鹿島商工会議所

パートナー：佐賀県流通課、佐賀県おもてなし課、佐賀県観光連盟 等

事務局：鹿島市観光協会、鹿島市

#### 取り組み事例（平成26年度）

##### ① 通年型の取り組みについての検討

- ・バスツアー調査研究事業(市単独)の実施
- ・第2回はしご酒イベント開催（食との連携）

##### ② 道の駅九州大会、全国町並みゼミでのPR

##### ③ 「鹿島酒蔵ツーリズム®2015」の開催（4回目）

→ 隣接する嬉野市3酒蔵も同時イベント開催へ

##### ④ 有田焼との連携

→ 県立有田窯業大学校生徒による酒器制作

#### 成果

PRイベント「鹿島酒蔵ツーリズム」については、関係者の創意工夫により回を重ねるたびに開催規模が大きくなるなど、過去3回の開催によって広く定着した。来場者アンケート結果では、来場者の約9割がイベントで何らかの買い物をし、うち約6割が3,000円以上の買い物をしたことから、5万人が来場した第2回目のイベントでは推計で約8,100万円の経済効果があった。

以下に、近年の集客状況を示す。

平成24年度：約30,000人

平成25年度：約50,000人

平成26年度：約40,000人



図3-1 鹿島酒蔵ツーリズム

#### 【愛知県知多半島】

半田商工会議所を主体とし、醸-KAMOSU-プロジェクトという取り組みを行っている。主に、酒蔵を中心としたツアーによって地域活性化と地場産の発展を目的としている。

#### 実施主体・体制

主体：半田商工会議所

協力：半田市、半田市観光協会、知多ソフィア観光ネットワーク、知多半島広域観光圏協議会、半田酒造協同組合

#### 取り組み事例

##### ①老舗料亭で和食マナーと知多酒文化に触れる

###### 盛田金しゃち酒造株式会社【酒蔵見学・試飲】

1848年創業の造り酒屋。創業時のまま残る酒蔵を蔵元・杜氏の案内のもと見学を行い、酒造りの手法や工程を学ぶ。また、酒蔵の銘柄の試飲とともに利き酒クイズも開催する。

###### 料亭望洲楼【昼食・和マナー講座】

明治天皇行幸の際、食事された格式ある料亭。知多酒で乾杯し、知多半島の味噌たまりの醸造文化の会席料理を楽しむ。これにより、食を通じて女将より和食マナーを学ぶ。

###### 立川美術館【山車・からくり実演】

国の重要無形文化財に指定された潮干祭の主役である山車。その山車に施されている立川流の彫刻や本物の山車、からくり人形の実演を鑑賞する。

## ②知多半島・醸造文化めぐり旅

### 盛田株式会社【酒蔵見学・味噌蔵見学】

1665年に酒造業を創業し、1708年に味噌・たまりの醸造を開始した盛田において、蔵元・杜氏の案内のもと酒蔵と味噌蔵を見学する。酒造り・味噌造りの手法や工程を学び、味噌などの試食を行う。

### 盛田 味の館【日本酒講座・試飲・昼食】

蔵元・杜氏による日本酒の種類、酒造りの手法や工程などの基礎講座を行う。酒蔵の銘柄を試飲し、最後には蔵元・杜氏、味の館館長が参加者の輪に入り、日本酒や味噌について語り合う。

### 美浜・食と健康の館【塩づくり体験】

海水から作る自然海水塩の造り方を学び、実際に塩づくりを体験する。



表3-2 半田市 酒蔵ツーリズム

各地域が、酒蔵を中心とした独自の「酒蔵ツーリズム」を形成し始めていることが明らかとなった。その手法や規模は様々であり、愛知県知多半島では主にツアーを取り組みの軸としている。

しかし、その取り組みの多くが単発で開催されるものであり、蔵元にとってはリピーターが思うように増えないというのもまた事実である。

通年を通して酒蔵が活用されるような取り組みや、PRの効果をより高められるような仕組みが今後求められるのではないかと考えられる。

## 酒蔵の保存活用

---

実地調査の概要

内部構成による分析

補修・改修による保存状況

用途変更に伴う取り組み

第4章 酒蔵の保存活用

4-1. 実地調査の概要

内部調査

第3章のアンケート調査の結果より、協力していただける酒造が多い1府11県を選定し、実地調査を行った。

ヒアリングに協力していただいた酒造にて内部調査を行った。調査方法は主に写真撮影と、提出していただいた図面によって行った。以下に、事例の詳細を示す。

表4-1 内部調査対象

No.	酒造名	都道府県	所在地	No.	酒造名	都道府県	所在地
01	池浦酒造株式会社	新潟県	長岡市両高 1538	30	笑四季酒造株式会社	滋賀県	甲賀市水口町本町 1-7-8
02	柏露酒造株式会社		長岡市十日町字小島 1927	31	美富久酒造株式会社		甲賀市水口町西林口 3-2
03	頸城酒造株式会社		上越市柿崎区柿崎 5765	32	北島酒造株式会社		湖南省針 756
04	石塚酒造株式会社		柏崎市高柳町岡野町 1820-2	33	竹内酒造株式会社		湖南省石部中央 1-6-5
05	今代司株式会社		新潟市中央区鏡が岡 1-1	34	暁酒造有限会社		野洲市小篠原 1389
06	笹祝酒造株式会社		新潟市西蒲区松野尾 3249	35	古川酒造有限会社		草津市矢倉 1-3-33
07	株式会社今井酒造店	群馬県	太田市鳥山中町 746-2	36	有限会社平井商店		大津市中央 1-2-33
08	山川酒造株式会社		邑楽郡千代田町大字赤岩 185-3	37	松山酒造株式会社	京都府	京都市伏見区東堺町 472
09	山崎酒造株式会社		太田市新田木崎町 966	38	玉乃光酒造株式会社		京都市伏見区東堺町 545-2
10	善哉酒造株式会社	長野県	松本市大手 5-424	39	株式会社山本本家		京都市伏見区上油掛町 36-1
11	岩波酒造合資会社		松本市里山辺 5159	40	株式会社北川本家		京都市伏見区村上町 370-6
12	合名会社亀田屋酒造店		松本市島立 2748	41	株式会社増田徳兵衛商店		京都市伏見区下鳥羽長田町 135
13	笑亀酒造株式会社		塩尻市塩尻町 140	42	太陽酒造株式会社	兵庫県	明石市大久保町江井島 789
14	麗人酒造株式会社		諏訪市諏訪 2-9-21	43	江井ヶ嶋酒造株式会社		明石市大久保町西島 919
15	伊東酒造株式会社		諏訪市諏訪 2-3-6	44	茨木酒造株式会社		明石市魚住町西岡 1377
16	酒ぬのや本金酒造株式会社		諏訪市諏訪 2-8-21	45	石蔵酒造株式会社	福岡県	福岡市博多区堅粕 1-30-1
17	平和錦酒造株式会社	岐阜県	加茂郡川辺町下麻生 2121	46	有限会社白糸酒造		糸島市本 1986
18	有限会社松井屋酒造場		加茂郡富加町加治田 688-2	47	瑞穂錦酒造株式会社		久留米市大善寺町藤吉 940
19	株式会社小坂酒造場		美濃市 2267	48	池亀酒造株式会社		久留米市三潞町草場 545
20	株式会社三千盛		多治見市笠原町 2919-1	49	旭菊酒造株式会社		久留米市三潞町老町原 403
21	岩村醸造株式会社		恵那市岩村町 342	50	筑紫の誉酒造株式会社		久留米市城島町青木島 181
22	富士高砂酒造株式会社	静岡県	富士宮市宝町 9-25	51	五町田酒造株式会社	佐賀県	嬉野市塩田町大字五町田甲 2081
23	株式会社土井酒造場		掛川市小貫 633	52	矢野酒造株式会社		鹿島市大字高津原 3903-1
24	盛田金しゃち酒造株式会社	愛知県	半田市亀崎町 9-112	53	富久千代酒造有限会社		鹿島市浜町 1244-1
25	神の井酒造株式会社		名古屋市長区大高町字高見 25	54	幸姫酒造株式会社		鹿島市古枝甲 599
26	山盛酒造株式会社		名古屋市長区大高町字高見 74	55	井手酒造株式会社		嬉野市嬉野町大字下宿乙 806-1
27	青木酒造株式会社		愛西市本部田町本西 60	56	合名会社松尾酒造場		西松浦郡有田町大木宿 617
28	合資会社早川酒造部	三重県	三重郡川越町高松 829	57	松浦一酒造株式会社		伊万里市山代町楠久 312
29	伊藤酒造株式会社		四日市市桜町 110				

外観調査

内部調査を行った57事例と、同1府11県の43事例の計100事例において外観調査を行った。写真撮影により、外壁、腰壁、屋根に使用されている材料を把握する。以下に、外観調査のみを行った残りの43事例の詳細を示す。

表4-2 内部調査対象

No.	酒造名	都道府県	所在地	No.	酒造名	都道府県	所在地
58	お福酒造株式会社	新潟県	長岡市横枕町 6 0 6	80	宇野酒造有限会社	滋賀県	野洲市野洲 429
59	島岡酒造株式会社	群馬県	太田市由良町 375-2	81	月の里酒造株式会社		大津市石山寺 3-29-9
60	龍神酒造株式会社		館林市西本町 7-13	82	株式会社福井弥平商店		高島市勝野 1387-1
61	分福酒造株式会社		館林市仲町 3-15	83	白鷹株式会社	兵庫県	西宮市浜町 1 番 1 号
62	木内醸造株式会社	長野県	佐久市大沢 985	84	木谷酒造株式会社		西宮市 14-5
63	合資会社丸永酒造場		塩尻市大字広丘高出 840	85	日本盛株式会社		西宮市用海町 4 番 57 号
64	舞姫酒造株式会社		諏訪市諏訪 2-9-25	86	國産酒造株式会社		西宮市東町 1 丁目 12-34
65	宮坂醸造株式会社		諏訪市元町 1-16	87	大澤本家酒造株式会社		西宮市東町 1 丁目 13-28
66	中埜酒造株式会社	愛知県	半田市東本町 2-24	88	大関株式会社		西宮市今津出在家町 4-9
67	株式会社萬乗醸造		名古屋市緑区大高町字西門田 41	89	今津酒造株式会社		西宮市今津社前町 5-2 2
68	金虎酒造株式会社		名古屋市北区山田 3 丁目 11-16	90	鷹正宗株式会社	福岡県	久留米市大善寺町黒田 297
69	東春酒造株式会社		名古屋市守山区瀬古東 3-1605	91	萬年亀酒造株式会社		久留米市三潞町草場 68-4
70	山田酒造株式会社		海部郡蟹江町大字須成 1245	92	比翼鶴酒造株式会社		久留米市城島町内野 466-1
71	甘強酒造株式会社		海部郡蟹江町城 4-1	93	有薫酒造株式会社		久留米市城島町内野 330-9
72	合資会社後藤酒造場	三重県	桑名市赤尾 1019	94	株式会社花の露		久留米市城島町城島 223-1
73	安達本家酒造株式会社		三重郡朝日町繩生 2107-1	95	清力酒造株式会社		大川市鐘ヶ江 9-1
74	有限会社稲垣		三重郡朝日町大字柿 2174	96	若波酒造合名会社		大川市鐘ヶ江 752
75	株式会社タカハシ酒造		四日市市松寺 2 丁目 15-7	97	瀬頭酒造株式会社	佐賀県	嬉野市塩田町五町田甲 3117
76	石川酒造株式会社		四日市市桜町 129	98	株式会社峰松酒造場		鹿島市浜町乙 2761-2
77	河武醸造株式会社		多気郡多気町五桂 234	99	合資会社光武酒造場		鹿島市浜町乙 2421
78	西国酒造株式会社	滋賀県	甲賀市水口町松栄 1-29	100	古伊万里酒造有限会社		伊万里市二里町中里甲 3288-1
79	宇野酒造場		野洲市野洲 236				

4-2. 内部構成による分析

ここでは、従前と現在の建物配置を比較することで、日本酒の変遷と共に酒蔵建築がどのように変化していったのかを考察する。

45. 石蔵酒造株式会社

石蔵酒造は創業時の明治3年には酒倉と作業用建物の2棟で酒造りを行っていたが、明治中期に2棟を増築し、4棟で酒造りを行う。

その後大正から昭和の間にさらに増築が繰り返され、7棟となった。

現在は、その7棟のうち1棟が取り壊され、残りの6棟の大半が別の用途に使用されている。そのため、酒造りの工程のほとんどは新しく建てられた2棟の新蔵で行われている。

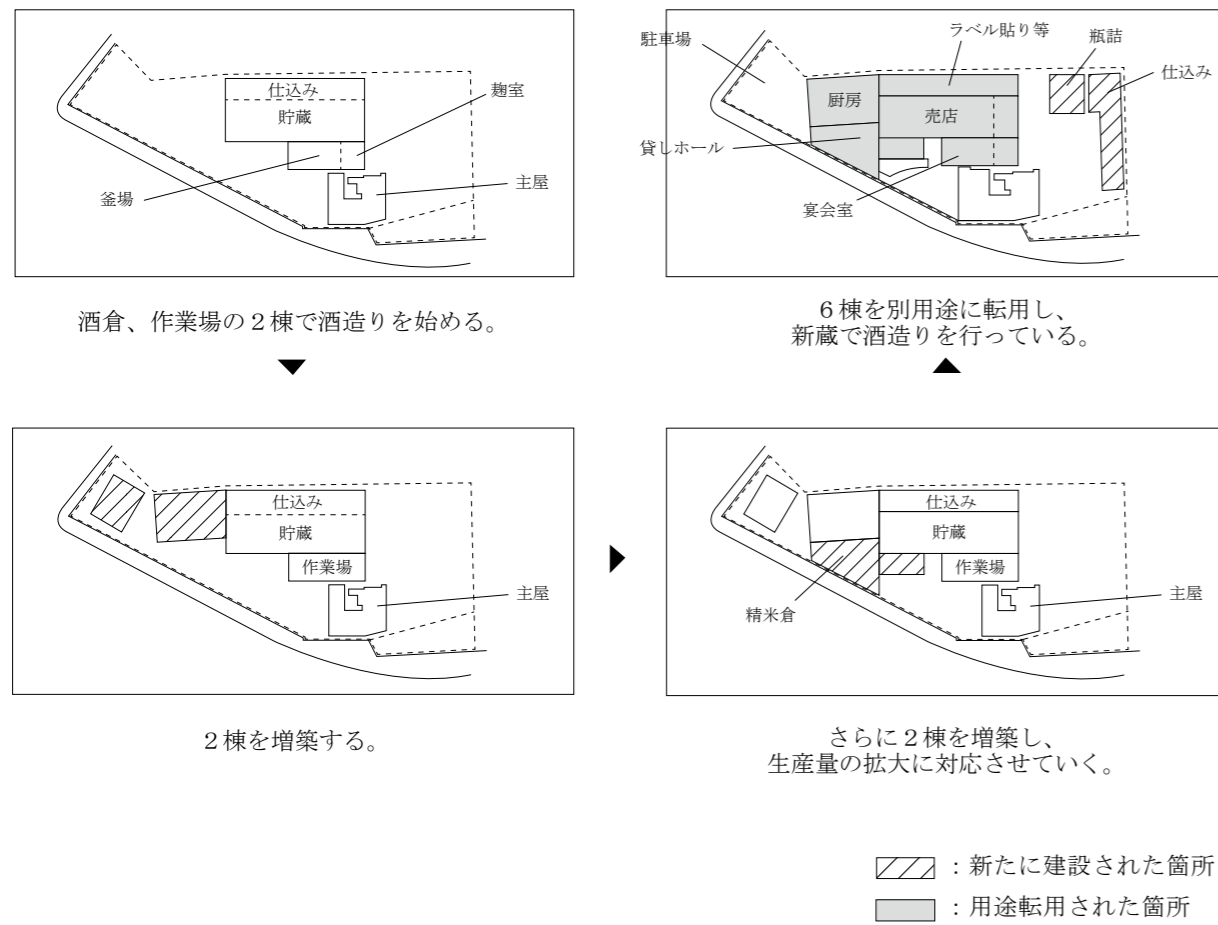


図4-1 石蔵酒造 建物配置の変遷

この結果から、以下のような考察ができる。

大正から昭和にかけて、日本酒需要の増加や酒具の機械化により、大量の日本酒を造る場所や大型の機械を置くための場所が必要とされた。それに対応するため、ほとんどの酒造が増築を繰り返したといえる。しかし、近年、日本酒の生産量の低下により、日本酒業界は量ではなく一つの質を高める志向に変化している。そのため、大型のタンクではなく、小さなタンクのみで酒造りを行っている酒造も多く見られた。また、衛生面などを考慮し、仕込み自体は新蔵でほぼ行っているという事例も多く確認できた。これらを理由として、以前増築をした酒倉が必要とされなくなっていると考えられる。

しかし、必要のない物として、価値のある木造蔵の取り壊しを検討している酒造も少なくない。これらの酒倉に別の用途を付加し、新たな価値を見出すことが重要であるといえる。

4-3. 補修・改修による保存状況

外観調査を行った100事例において、現在使用されている外壁・腰壁材料と屋根材料の分類を行う。これにより、酒蔵の補修・改修や保存状況を明らかにすることを目的とする。

外壁と腰壁材には、白壁・土壁・下見板貼り・板貼り・煉瓦・なまこ壁など建設時から使用されていた材料の他に、補修・改修の際にモルタル・トタン・ガルバリウム鋼板など新たな材料に変更されている事例も多く確認できた。屋根材に関しては、瓦の他にトタン・ガルバリウム鋼板などが同じく確認できた。

これらの近代的な素材は、人通りの少ない裏通り等に部分的に使用する事例が多くみられた。しかし一方で、費用や補修の手間を考慮して全体的にトタン等を使用する事例も少なくなかった。トタンに比べてガルバリウム鋼板は錆びにくく、色褪せづらいことが利点であるため、使用件数が増え始めている。また、九州地方に関しては、外壁・腰壁に煉瓦が用いられている事例が多く見られた。九州地方では、これらを含む多くの事例が趣室に木材でなく煉瓦を使用しており、酒蔵全体に煉瓦の断熱性能を利用していたのではないかと考えられる。

各事例の詳細は、4-5に示す。

表4-3 地方別外観要素一覧（数字は件数）

外観要素 地方	外壁								腰壁								屋根材料			
	白壁	土壁	下見板	板	煉瓦	モルタル	サイディ	トタン	ガルバ	下見板	板	煉瓦	モルタル	サイディ	トタン	ガルバ	なまこ	瓦	トタン	ガルバ
関東・信越地方	9	3	6	4	0	2	0	8	8	7	1	0	0	0	7	1	3	15	1	14
東海地方	16	1	6	3	1	3	3	13	3	13	9	1	1	1	8	0	0	25	2	1
近畿地方	10	3	0	4	1	1	0	3	7	1	13	0	0	0	6	0	0	18	0	4
九州地方	7	0	1	12	6	5	2	13	8	1	5	6	0	1	3	2	1	20	5	2
合計	42	7	13	23	8	11	5	37	26	22	28	7	1	2	24	3	4	78	8	21

さらに、各外観要素を地方別に比較した。まず外壁と腰壁について、補修後も建設当時と同じ材料を使用しているものと、新たな素材を使用したものとの割合を比較した。その結果、外壁に関してはほぼ同数となり、近代的な素材の使用割合の高さが明らかとなった。一方で、屋根は瓦の使用割合が圧倒的に高く、関東・信越地方のみ瓦の使用が少ないという結果となった。

以上のように比較・考察を行ったが、地方ごとにあまり大きな差はみられなかった。

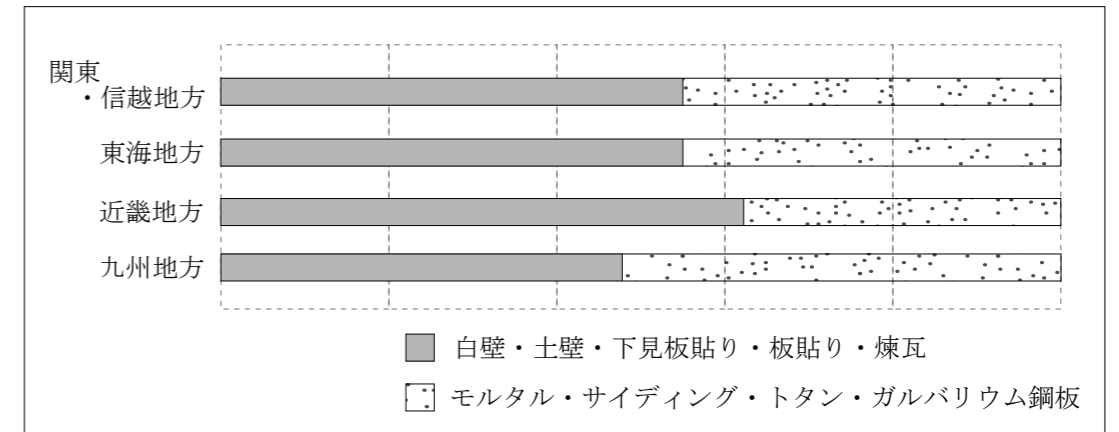


図4-2 外壁材料の使用割合

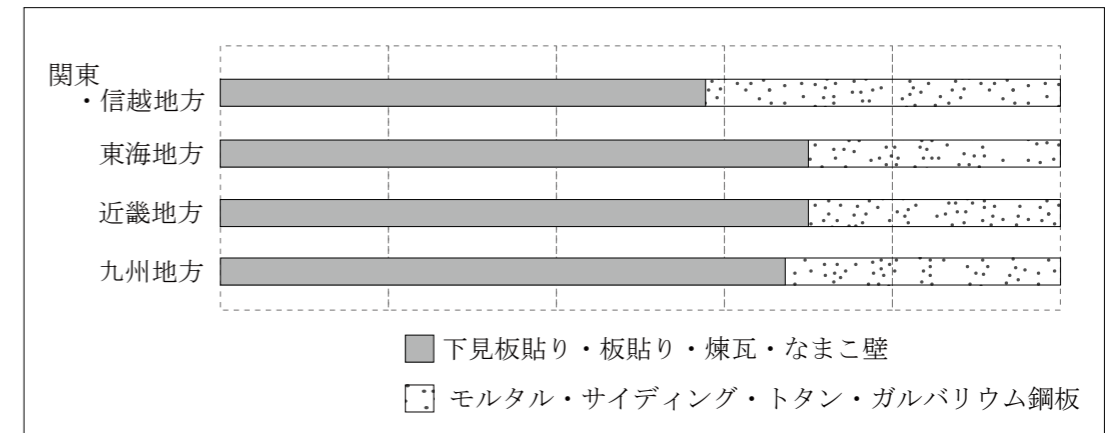


図4-3 腰壁材料の使用割合

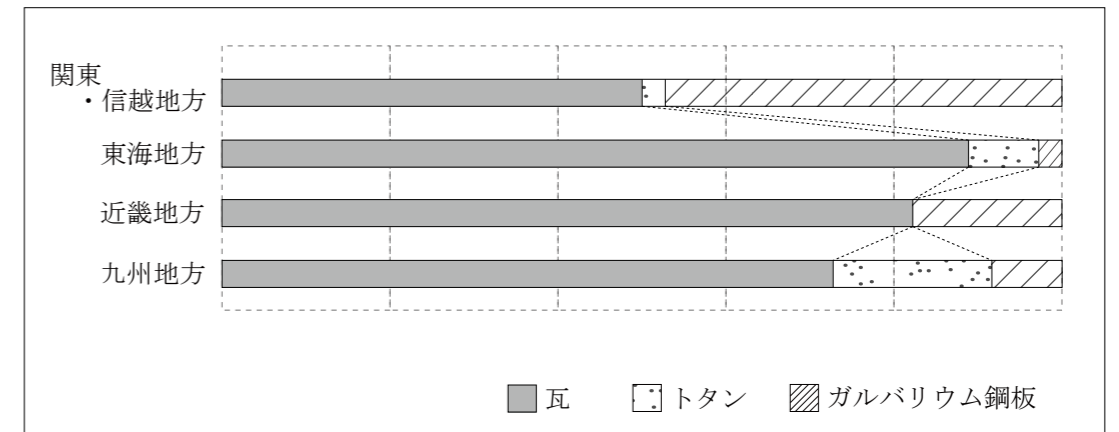


図4-4 屋根材料の使用割合

4-4. 用途変更に伴う取り組み

調査を行った57事例のうち、25事例において用途転用が行われていた。ここでは、実際に転用が行われている事例について考察を行う。

No. 9：山崎酒造株式会社

所在地：三重県四日市市桜町110

山崎酒造では、観光目的ではなく地域住民が集まる場として活用している。様々な人に利用してもらうことでイベントの幅も広がり、地域活性化につながっているといえる。

使用用途

貸しスペース、バースペース

使用しなくなった米倉1棟を活用している。元米倉は二つの空間に仕切られており、米を貯蔵する空間と精米工程を行う空間として利用されていた。現在は、一つが貸しスペースとして利用されている。その使用時間に応じて料金を支払えば誰でも借りることができ、アーティストによって作品の販売が行われたり、ヨガの講師を呼ぶことで地域住民が頻繁に訪れる空間となっている。もう一つの空間には椅子、テーブル、バーカウンターが配置され、地域住民の憩いの場となっている。



図4-2 山崎酒造株式会社

No. 29：伊藤酒造株式会社

所在地：三重県四日市市桜町110

周辺に他の酒造がない伊藤酒造は電車でのアクセスが困難な場所に位置する。訪れる人の多くは団体の観光客であるため、それに向けた商品販売店舗の改修に力を入れている。しかし、訪れる中心が団体観光客であることから、頻繁に利用されることがないのが問題として挙げられる。

使用用途

以前の酒倉2棟を活用し、商品販売店舗と休憩スペースとして利用している。内部の階段には米を炊いていた釜の蓋が使用され、椅子やテーブルには使用されなくなった木製の酒具が利用されている。また、外壁の腰壁材には前使用されていた木桶の木材が使用されるなど、細部に工夫が施されている。



図4-3 伊藤酒造株式会社

No. 39 : 株式会社山本本家

京都府京都市伏見区上油掛町36-1

多くの酒蔵が密集する京都伏見に位置する山本本家は、その立地を活かし、観光客に向けた飲食店として活用を行っている。伏見は京都駅から電車で約10分でのアクセスが可能なため、大型バス以外の観光客も多い。

使用用途

以前の仕込み倉と米倉を活用し、飲食店舗として活用している。2階建ての仕込み倉の床を抜き、吹き抜けにすることで大空間をつくりあげている。また、仕込み倉の横に隣接した米倉は個室空間として利用するなど、内部と外部を曖昧にすることで多様な空間を創出している。



図4-4 株式会社山本本家

No. 45 : 石蔵酒造株式会社

福岡県福岡市博多区堅粕1-30-1

石蔵酒造は、福岡県の中心地である博多に唯一残る酒蔵である。その恵まれた立地条件を利用し、挙式・披露宴等に活用を行うことで地域住民にとって馴染み深い存在となっている。天井高が高いという酒蔵の利点を活かしたコンサートホールは、現在ではプロ・アマチュア問わずコンサートが行われるため、観光客の集客にもつながっているといえる。

使用用途

以前の仕込み倉と米倉を活用し、飲食店舗として活用している。2階建ての仕込み倉の床を抜き、吹き抜けにすることで大空間をつくりあげている。また、仕込み倉の横に隣接した米倉は個室空間として利用するなど、内部と外部を曖昧にすることで多様な空間を創出している。



図4-5 石蔵酒造株式会社





---

事例の立地によって、観光地、郊外、中心市街地の大きく3つに分類を行ったが、それぞれが異なるメリット、デメリットを備えている。

これにより、使用しない酒倉をどのように活用していくかには、その立地条件が大きく影響するといえる。第2章で述べたように、日本酒酒造には廃業を余儀なくされた酒造が数多く存在する。そのため、伊藤酒造のように以前は酒蔵が密集していたが現在では1軒のみが点在しているという地域も少なくない。これにより、密集した地域の酒造と周囲から孤立した酒造とが存在するといえる。単に観光用途として活用するのではなく、地域住民に求められている機能に転用を行うなど、その立地条件に応じた活用を行うことが必要である。

しかし一方で、その利用の仕方が分からないという声が多く上げられている。この課題を解決するために、3-4で述べたように酒造同士が情報交換をすることが有効であると考えられる。現在、各都道府県に酒造組合が存在しているが、先に述べたような地域差を考慮し、より小さな単位での意見交換の場が必要である。このような団体を利用することで、観光に関する企画運用だけでなく、各酒造の情報交換や意見交換の場として活用していくことができる。これにより、今後どのように酒蔵を活用していくかを地域全体で検討することが可能となり、地域らしきを見出すことで地域活性化や酒蔵保存への意識向上も期待できるのではないかと。

第5章

総括

---

まとめ・研究の成果

考察・今後の展望

5-1. まとめ・研究の成果

本研究で得られた成果は、以下のようにまとめられる。

・日本酒の歴史とともに、酒蔵建築は生産量の変動や酒具の機械化に対応するため、その姿を大きく変化させてきた。大正時代から昭和時代にかけて、日本酒の重要が増加し、酒具の機械化が全国的に広がっていった。この日本酒大量生産期に対応するため、ほとんどの酒造において酒倉の増築が繰り返された。

しかし、近年、最盛期に比べて日本酒需要が低迷していることにより、日本酒の量より質を優先させる志向に変化している。その結果、多くの酒造において、以前酒造りに使用されていた酒倉が不必要となり、使用されずに残されているのが現状である。

・使用しなくなった酒倉を別用途に転用している事例が見られ、その立地や対象によって多様に変化を遂げている。一方で、「特に用途もないので今後取り壊す予定である」という意見も上げられ、酒蔵保存への影響が懸念される。

・外観の補修の際に、従前と同じ材料を使用せず新たな材料を使用する事例が多く見られた。これは、費用の不足と共に、景観に対する意識の低さが原因として挙げられる。

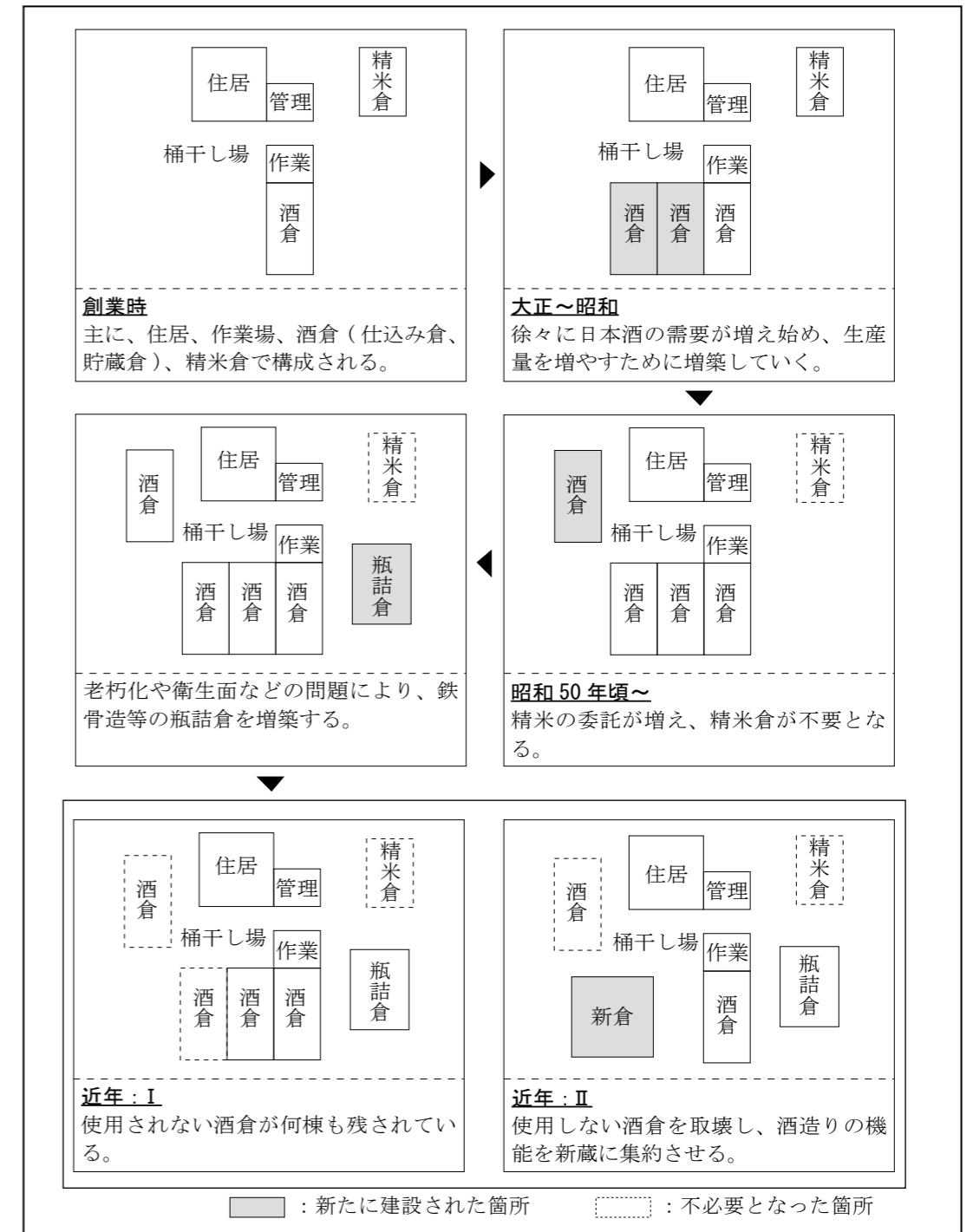


図4-5 酒蔵建築形態の変遷

5-2. 今後の課題と展望

---

以上の分析結果を基に、今後の酒蔵建築の在り方について論考を行う。

- ・不必要とされている酒倉を別用途へと転用させ、有効に活用することで、新たな価値を見出すことができると言える。

- ・その活用用途には立地条件が大きく関連しており、条件に基づいて用途を検討することが求められる。現在、酒蔵を観光に利用する取り組みが多く進められているが、観光への活用だけでなく地域住民に向けたものとしての価値が多いに期待できる。

- ・酒蔵ツーリズムのような小さな地域単位での団体を、観光に関する企画運用だけでなく、各酒造の情報交換の場として設けることが有効である。専門家の助言や地域住民の要望と共に、今後どのように活用していくかを検討し、地域らしさを見出すことで地域活性化と共に酒蔵保存への意識向上も期待できると考える。

これらの考え方を基にすることで、酒蔵の保存活用だけでなく、酒蔵を中心とした地域活性化のために有効な方策として機能させることができるのではないかと。

今後は本研究を発展させ、組織構成においてさらに深い論考を行うことで、具体的な取り組みへの発展も期待できる。

付録  
資料編

---

各酒蔵事例調査票

参考文献・出典

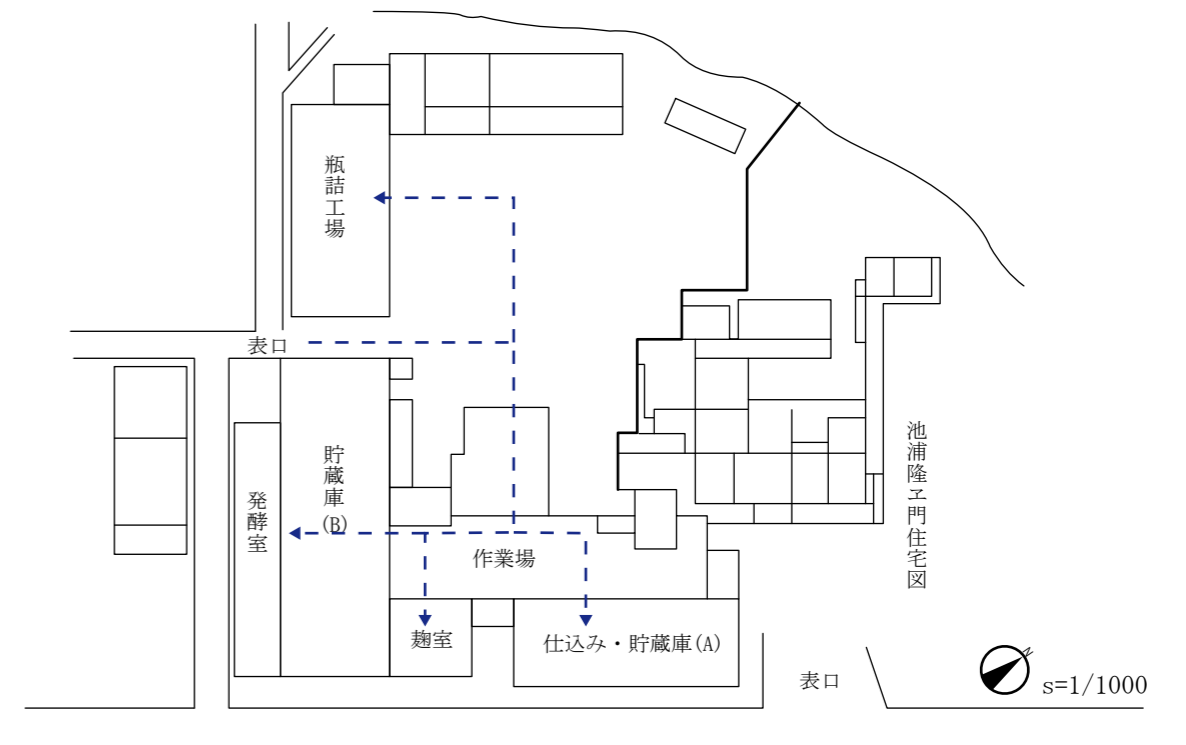
全国酒造アンケート

梗概

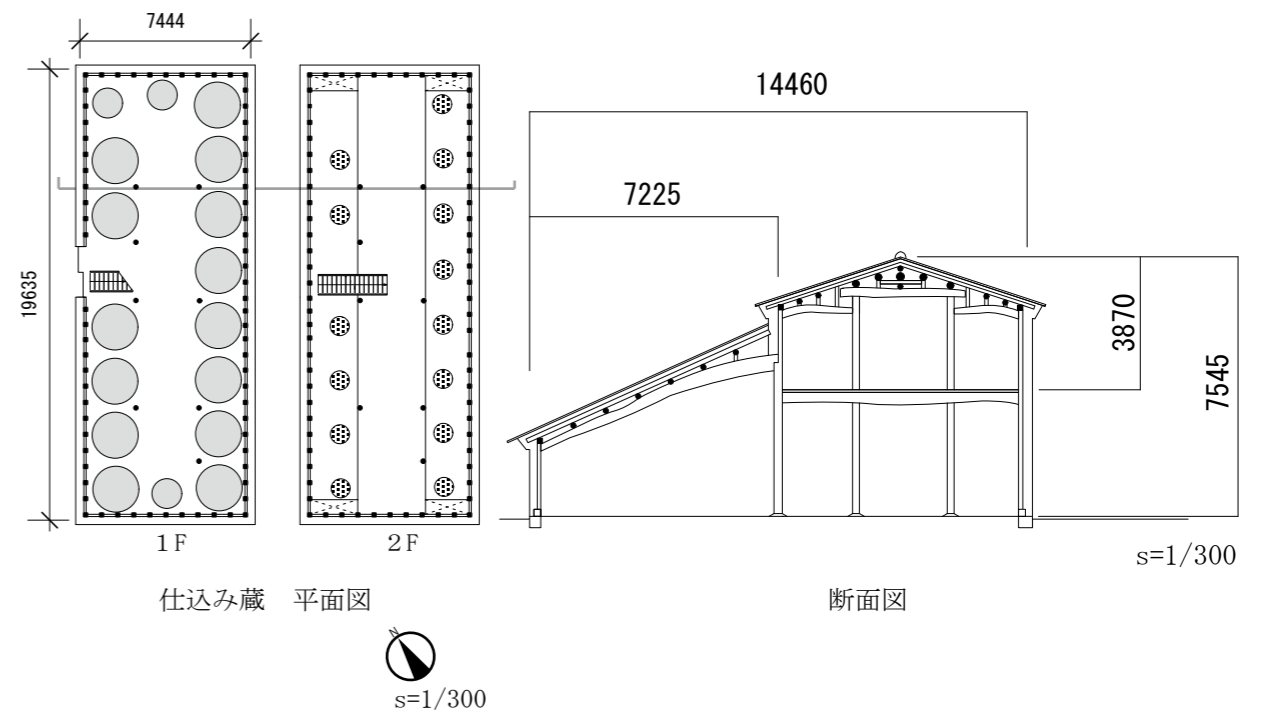
# 01. 池浦酒造株式会社

## 基本情報

所在地 : 新潟県長岡市両高 1538 番地	使用用途 : 酒造り全般
創業 : 1830 年	外壁 : 漆喰、下見板張り、板張り、トタン
代表銘柄 : 和楽五尊	屋根 : 瓦、トタン
建設年 : 1830 年	
参考文献・参考サイト等 :	



配置図



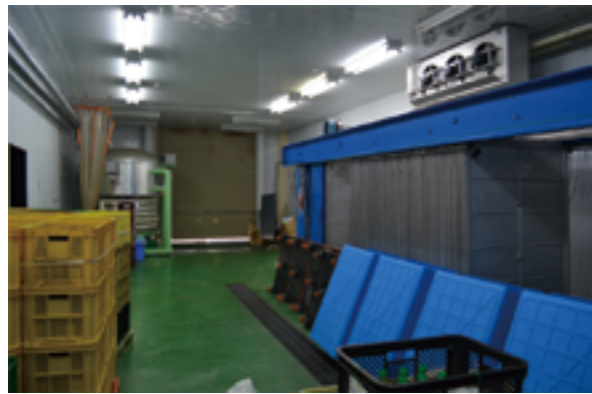
仕込み蔵 平面図

断面図

## 02. 柏露酒造株式会社

### 基本情報

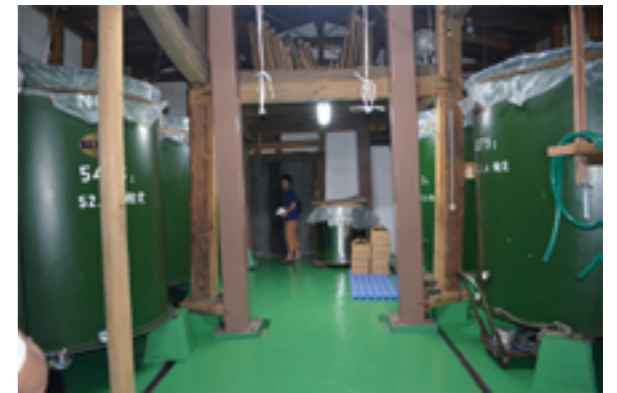
所在地	: 新潟県長岡市両高 1538 番地	使用用途	: 酒造り全般
創業	: 1830 年	外壁	: 漆喰、板張り、トタン
代表銘柄	: 和楽五尊	屋根	: トタン
建設年	: 1830 年		
参考文献・参考サイト等:			



## 03. 頸城酒造株式会社

### 基本情報

所在地	: 新潟県上越市柿崎区柿崎 5765 番地	使用用途	: 酒造り全般
創業	: 1697 年	外壁	: 漆喰、サイディング、ポリカ波板
代表銘柄	: 久比岐	屋根	: 瓦、トタン
建設年	: 新蔵増設 (1972)、瓶詰工場 (1995)、貯蔵 (1995)		
参考文献・参考サイト等:			



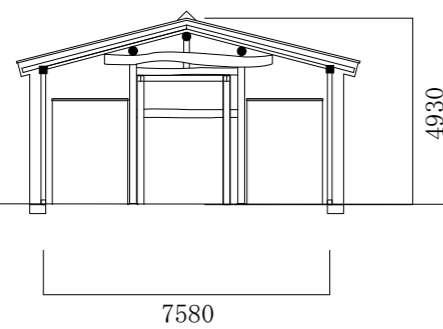
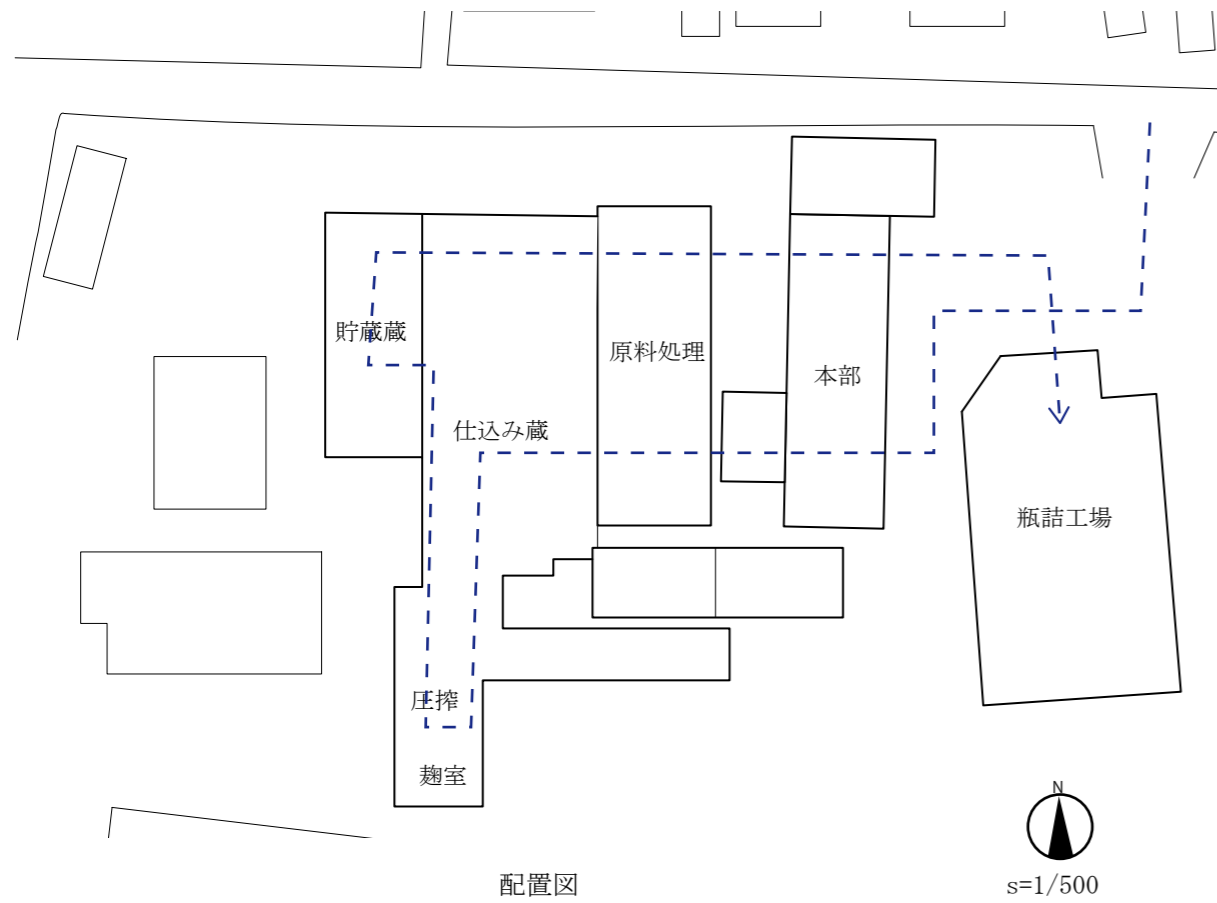


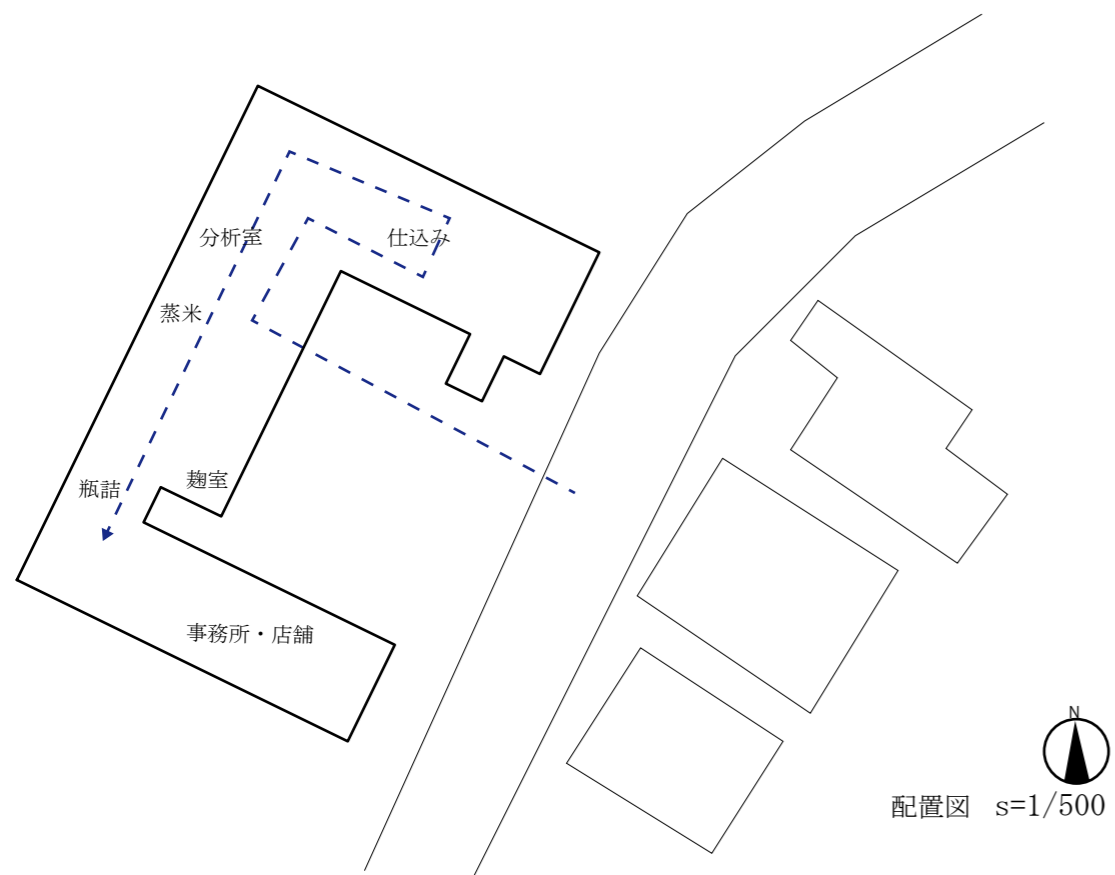
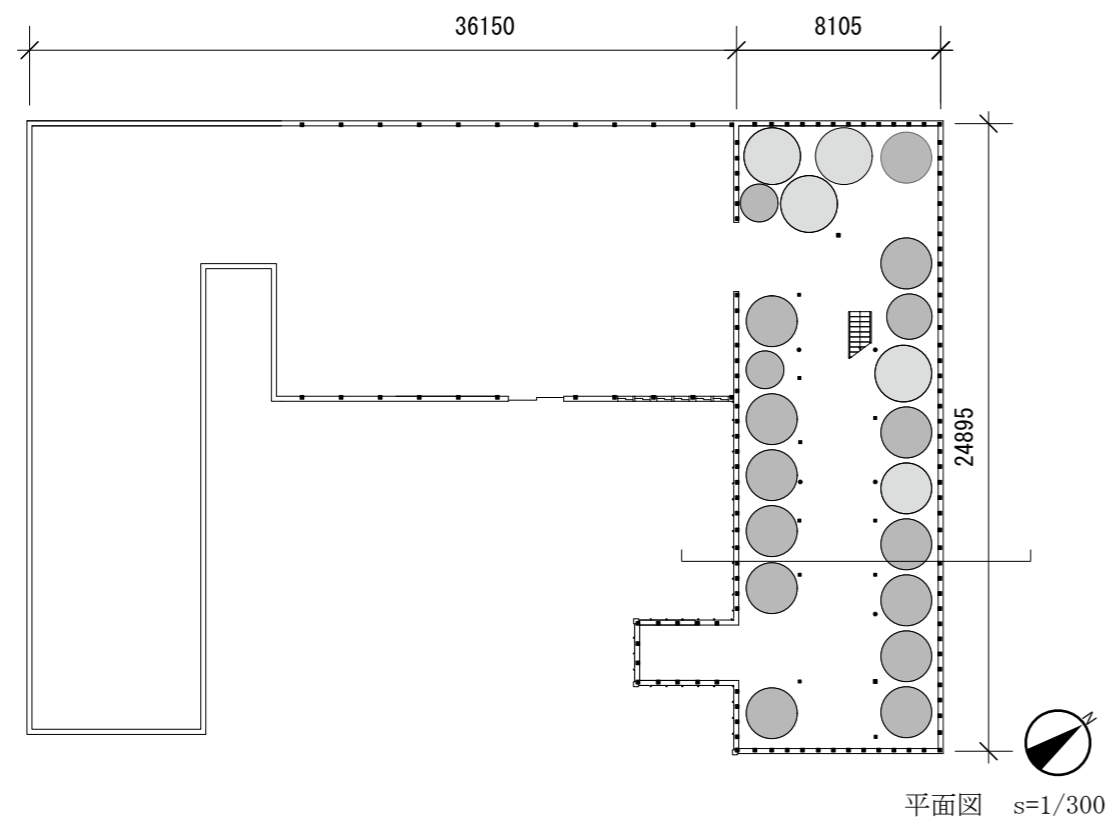
## 04. 石塚酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 新潟県柏崎市高柳町岡野町 1820-2  
 創業 : 1912年(大正元年)  
 代表銘柄 : 姫の井  
 建設年 : 1910年  
 参考文献・参考サイト等 :

使用用途 : 酒造り全般  
 外壁 : 下見板張り、サイディング、ト  
 腰壁 タン  
 屋根 : トタン





## 05. 今代司酒造株式会社

### 基本情報

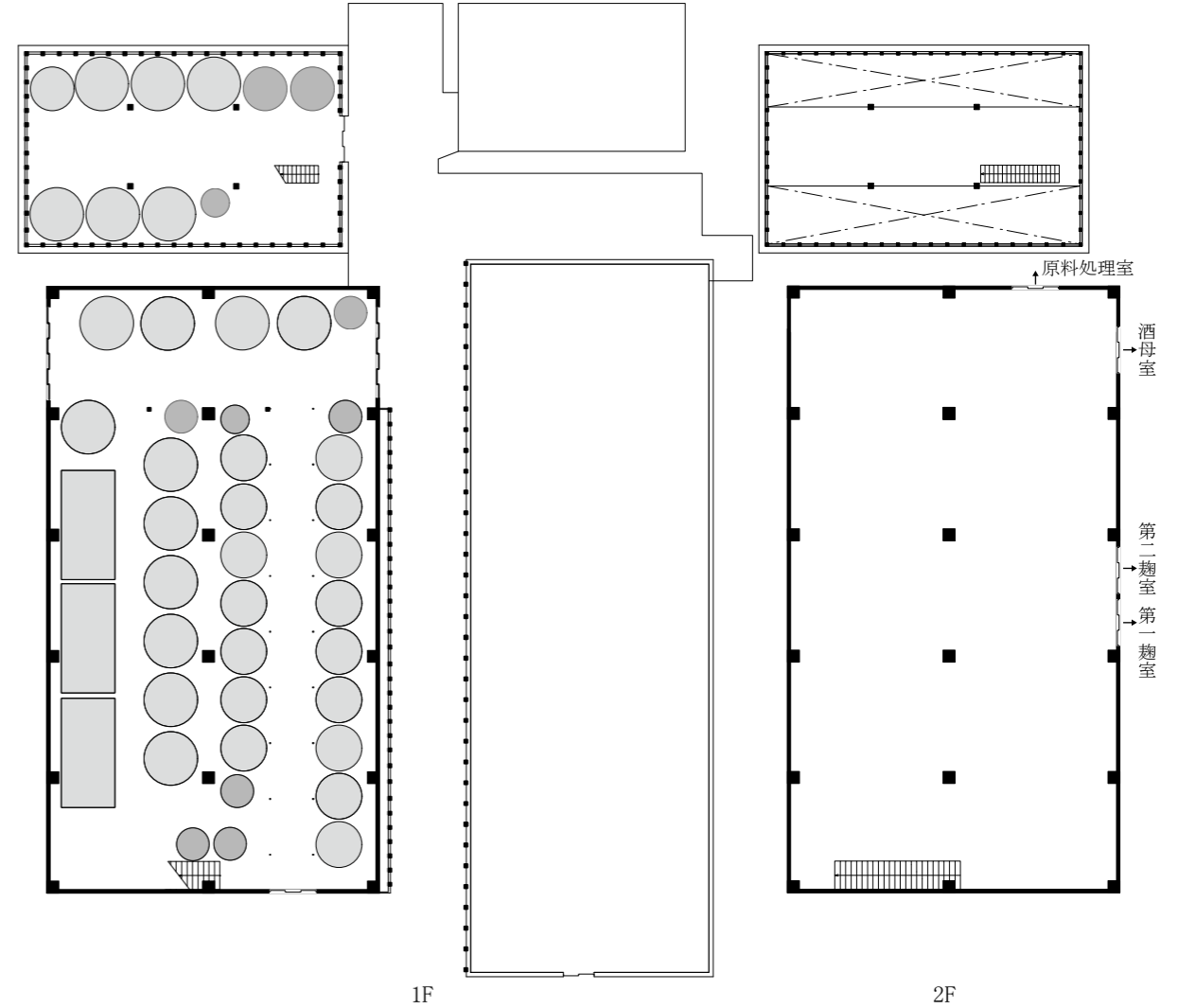
所在地 : 新潟県新潟市中央区鏡が岡 1-1  
 創業 : 1897 年  
 代表銘柄 : 今代司  
 建設年 : 本部 (1907 年)、江戸蔵の移築 (1917 年)、仕込み蔵 (1957 年)  
 参考文献・参考サイト等 :

使用用途 : 酒造り全般、展示空間  
 外壁 : 漆喰、下見板張り、板張り、モルタル、トタン  
 屋根 : 瓦、トタン





配置図 s=1/1000



1F 平面図

2F

s=1/300

14810

7970

仕込み蔵断面図

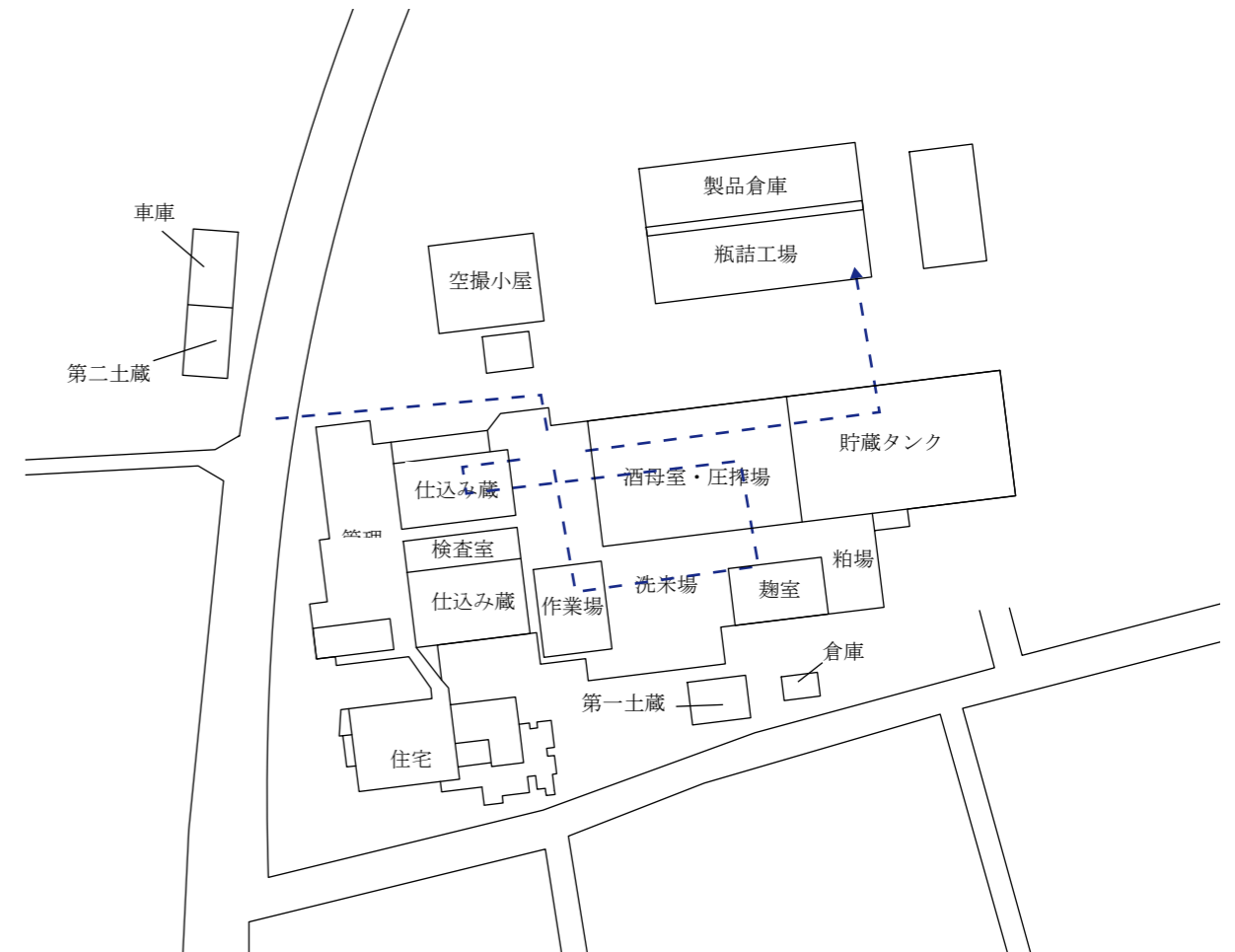
s=1/300

## 06. 笹祝酒造株式会社

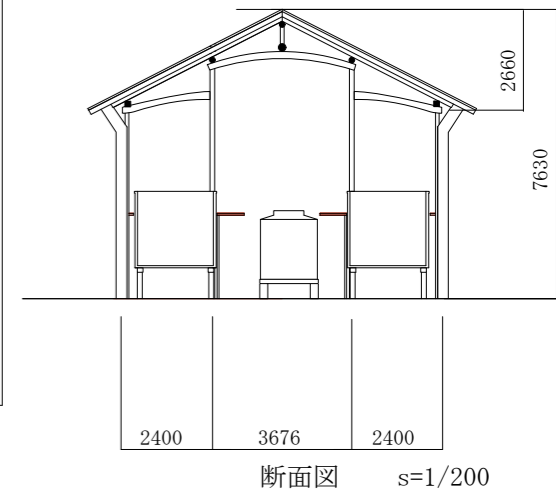
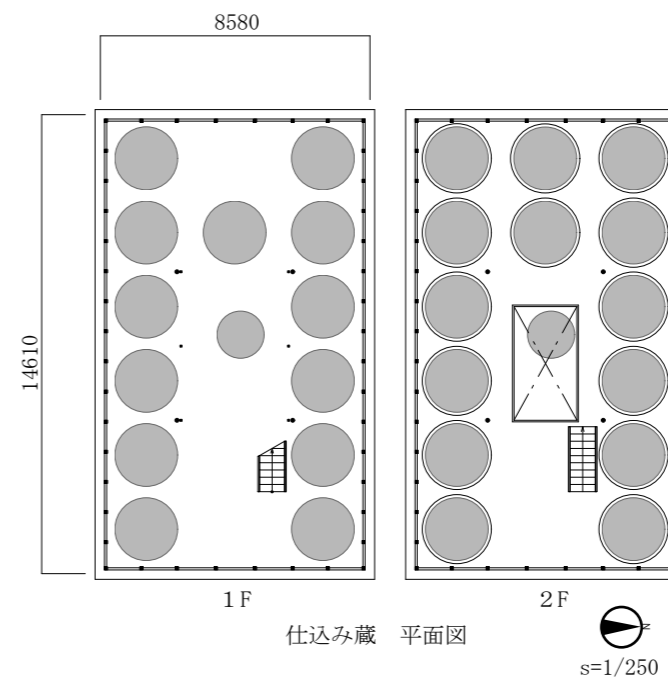
### 基本情報

所在地 : 新潟県新潟市西蒲区松野尾 3249  
 創業 : 1899 年  
 代表銘柄 : 笹祝  
 建設年 : 大正・昭和初期・戦後 (瓶詰工場)  
 参考文献・参考サイト等 :  
<http://www.sasaiwai.com/>

外壁 : 白壁、下見板張り、トタン  
 腰壁 : 板張り  
 屋根 : 瓦



配置図 s=1/1000



## 07. 株式会社今井酒造店

### 基本情報

所在地 : 群馬県太田市鳥山中町 746-2

創業 : 慶応2年

代表銘柄 : 上州風まかせ

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.nihonsyu.org/>

外壁 : 白壁、下見板張り、トタン

腰壁 : 白壁、トタン

屋根 : 瓦



## 08. 山川酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩 185-3

創業 : 嘉永三年

代表銘柄 : 光東

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.gunma-sake.or.jp/koutou/index.php>

外壁 : 白壁、トタン

腰壁 : 下見板張り、トタン

屋根 : 瓦、ガルバリウム鋼板



## 09. 山崎酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 群馬県太田市新田木崎町 966

創業 : 明治 8 年

代表銘柄 : 太平記の里

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.yamazaki-shuzo.com/>

外壁 : 白壁、下見板張り

腰壁 : 白壁

屋根 : 瓦、トタン、ガルバリウム鋼板



## 10. 善哉酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 長野県松本市大手 5-424

創業 : 江戸末期

代表銘柄 : 善哉

建設年 : 不明

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.nagano-sake.com/sake/2009/11/post-59.php>

外壁 : モルタル

腰壁 : ナシ

屋根 : ガルバリウム鋼板





## 11. 岩波酒造合資会社

### 基本情報

所在地 : 長野県松本市里山辺 5159	外壁: 土壁、ガルバリウム鋼板
創業 : 明治5年	腰壁: なまこ壁
代表銘柄 : 岩波	屋根: 瓦
建設年 :	
参考文献・参考サイト等 :	
<a href="https://www.mcci.or.jp/www/iwanami/">https://www.mcci.or.jp/www/iwanami/</a>	



## 12. 合名会社亀田屋酒造店

### 基本情報

所在地 : 長野県松本市島立 2748	活用用途 : 店舗・見学施設
創業 : 明治2年	外壁 : 白壁
代表銘柄 : アルプス正宗	腰壁 : 下見板張り
建設年 :	屋根 : 瓦、ガルバリウム鋼板
参考文献・参考サイト等 :	
<a href="http://kametaya.co.jp/">http://kametaya.co.jp/</a>	



### 13. 笑亀酒造株式会社

#### 基本情報

所在地 : 長野県塩尻市塩尻町 140

創業 : 明治 16 年

代表銘柄 : 笑亀

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.syoki.com/>

活用用途 : 試飲スペース

外壁 : 白壁

腰壁 : 白壁、なまこ壁

屋根 : 瓦



## 14. 麗人酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 長野県諏訪市諏訪 2-9-21

創業 : 寛政元年

代表銘柄 : 麗人

建設年 : 寛政元年

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.reijin.com/>

活用用途 : 店舗

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り

屋根 : 瓦、ガルバリウム鋼板



## 15. 伊東酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 長野県諏訪市諏訪 2-3-6

創業 :

代表銘柄 : 横笛

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.yokobue.co.jp/>

活用用途 : なし

外壁 : 白壁、下見板張り、トタン

腰壁 : 下見板張り

屋根 : 瓦、ガルバリウム鋼板



## 16. 酒ぬのや本金酒造株式会社



### 基本情報

所在地 : 長野県諏訪市諏訪 2-8-21

創業 : 宝暦 6 年

代表銘柄 : 本金

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

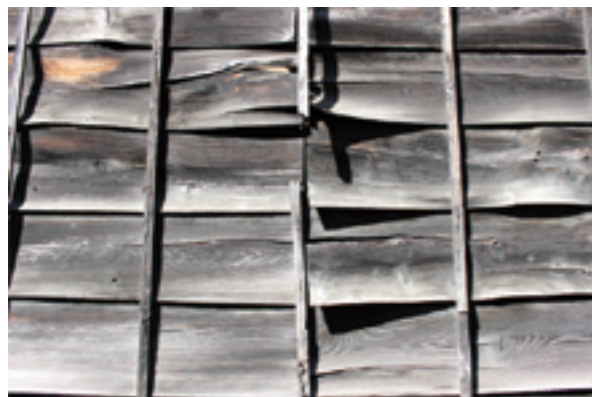
<http://honkin.net/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 下見板張り、トタン

腰壁 : トタン

屋根 : 瓦、ガルバリウム鋼板



## 17. 平和錦酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 岐阜県加茂郡川辺町下麻生 2121

創業 : 嘉永 3 年

代表銘柄 : 金泉

建設年 : 嘉永 3 年 (母屋、酒倉 2 棟)

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.kinsen.pu.shopserv.jp/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 板張り

屋根 : 瓦



## 18. 有限会社松井屋酒造場



### 基本情報

所在地 : 岐阜県加茂郡富加町加治田 688-2

創業 : 江戸中期

代表銘柄 : 半布里戸籍

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://matsuiya-sake.jimdo.com/>

活用用途 : 見学施設

外壁 : 白壁、トタン

腰壁 : 白壁、トタン

屋根 : 瓦



## 19. 株式会社小坂酒造場



### 基本情報

所在地 : 岐阜県美濃市 2267

創業 : 安永 2 年

代表銘柄 : 百春

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.kuramoto-kosaka.com/>

建設年 : 江戸中期 (仕込み倉、主屋)、昭和 (瓶  
活用用途 詰、釜場)

外壁 : 見学施設・物置

腰壁 : 白壁、トタン

屋根 : 下見板張り

: 瓦





## 20. 株式会社三千盛

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1

創業 : 1771 年

代表銘柄 : 三千盛

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.michisakari.com/>

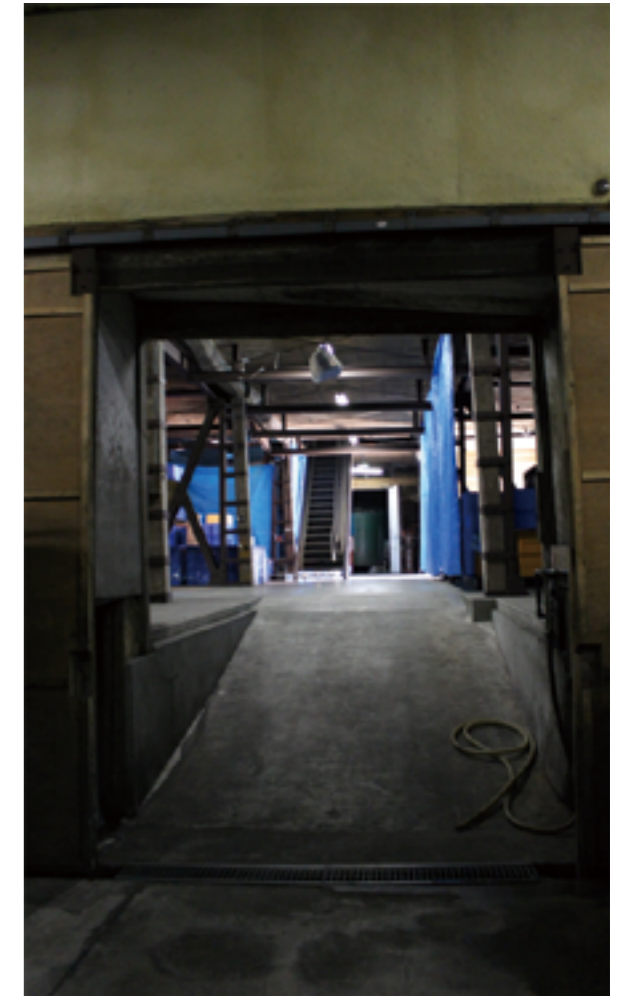
建設年 : 明治初期 (主屋)、平成 2 年 (新蔵)

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦



## 21. 岩村醸造株式会社

### 基本情報

所在地 : 岐阜県恵那市岩村町 342

創業 : 天明 7 年

代表銘柄 : 女城主

建設年 : 天明 7 年

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.torokko.co.jp/>

活用用途 : 店舗・見学施設

外壁 : 白壁、土壁

腰壁 : 下見板張り

屋根 : 瓦



## 22. 富士高砂酒造株式会社



### 基本情報

所在地 : 静岡県富士宮市宝町 9-25

創業 : 天保 2 年

代表銘柄 : 高砂

建設年 : 1831 年、昭和 (作業場)

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.fuji-takasago.com/>

活用用途 : 店舗・見学施設

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、トタン

屋根 : 瓦、ガルバリウム鋼板





## 23. 株式会社土井酒造場

### 基本情報

所在地 : 静岡県掛川市小貫 633  
 創業 : 明治 5 年  
 代表銘柄 : 開運  
 建設年 : 明治 (旧蔵)、昭和 61 年 (新蔵)  
 参考文献・参考サイト等 :  
<http://kaiunsake.com/>

活用用途 : 店舗・物置  
 外壁 : 白壁  
 腰壁 : 下見板張り  
 屋根 : 瓦



## 24. 盛田金しゃち酒造株式会社



### 基本情報

所在地 : 愛知県半田市亀崎町 9-112

創業 : 平成 24 年

代表銘柄 : 金鯨

建設年 : 不明

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.kinshachi.co.jp/>

活用用途 : 物置

外壁 : 下見板張り

腰壁 : 下見板張り

屋根 : 瓦



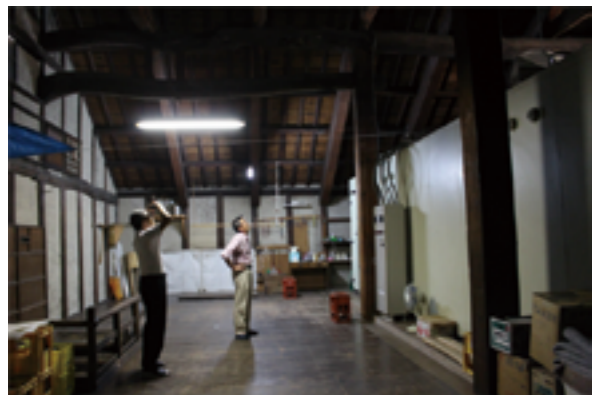


## 25. 神の井酒造株式会社

### 基本情報

所在地	：愛知県名古屋市緑区大高町字高見 25	建設年	：大正（旧蔵）、1816年（主屋）、昭和48年（新蔵）
創業	：安政3年	活用用途	：不使用
代表銘柄	：神の井	外壁	：白壁、トタン
参考文献・参考サイト等：			
<a href="http://kaminoi.co.jp/">http://kaminoi.co.jp/</a>		腰壁	：板張り
		屋根	：瓦





## 26. 山盛酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 愛知県名古屋市緑区大高町字高見 74

活用用途 : 不使用

創業 : 明治 20 年

外壁 : 白壁

代表銘柄 : 鷹の夢

腰壁 : 下見板張り、陶器

建設年 : 江戸、大正

屋根 : 瓦

参考文献・参考サイト等 :

<http://takanoyume.co.jp/>



## 27. 青木酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 愛知県愛西市本部田町本西 60

創業 : 文化 2 年

代表銘柄 : 米宗

建設年 : 昭和 34 年

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.yamahai.co.jp/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦





## 28. 合資会社早川酒造部



### 基本情報

所在地 : 三重県三重郡川越町高松 829

創業 : 明治 6 年

代表銘柄 : 天一

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.sam.hi-ho.ne.jp/hayakawakeisuke/>

建設年 : 不明 (大正に移築したため)、その他

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦





## 29. 伊藤酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 三重県四日市市桜町 110

創業 : 弘化 4 年

代表銘柄 : ウズメ

建設年 : 1900 年以前

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.suzukasanroku.com/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦





## 30. 笑四季酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 滋賀県甲賀市水口町本町 1-7-8

創業 : 明治 25 年

代表銘柄 : 笑四季

建設年 : 1770 年前後

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.emishiki.com/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦



## 31. 美富久酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 滋賀県甲賀市水口町西林口 3-2

創業 : 1771 年

代表銘柄 : 美富久

建設年 : 大正 8 年

参考文献・参考サイト等 :

<http://mifuku.co.jp/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦



## 32. 北島酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 滋賀県湖南市針 756

創業 : 文化 2 年

代表銘柄 : 御代米

建設年 : 明治

参考文献・参考サイト等 :

<http://kitajima-shuzo.jp/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦



### 33. 竹内酒造株式会社

#### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1

創業 : 1771 年

代表銘柄 : 三千盛

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.michisakari.com/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦



## 34. 暁酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1

創業 : 1771 年

代表銘柄 : 三千盛

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.michisakari.com/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦





## 35. 古川酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1

創業 : 1771 年

代表銘柄 : 三千盛

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.michisakari.com/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦





## 36. 有限会社平井商店

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1

創業 : 1771 年

代表銘柄 : 三千盛

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.michisakari.com/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦





## 37. 松山酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1

創業 : 1771 年

代表銘柄 : 三千盛

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.michisakari.com/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦





## 38. 玉乃光酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1

創業 : 1771 年

代表銘柄 : 三千盛

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.michisakari.com/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦



## 39. 株式会社山本本家

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1	活用用途 : 不使用
創業 : 1771 年	外壁 : 白壁
代表銘柄 : 三千盛	腰壁 : 下見板張り、陶器
建設年 :	屋根 : 瓦
参考文献・参考サイト等 :	
<a href="http://www.michisakari.com/">http://www.michisakari.com/</a>	



## 40. 株式会社北川本家

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1	活用用途 : 不使用
創業 : 1771 年	外壁 : 白壁
代表銘柄 : 三千盛	腰壁 : 下見板張り、陶器
建設年 :	屋根 : 瓦
参考文献・参考サイト等 :	
<a href="http://www.michisakari.com/">http://www.michisakari.com/</a>	



## 41. 株式会社増田徳兵衛商店

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1	活用用途 : 不使用
創業 : 1771 年	外壁 : 白壁
代表銘柄 : 三千盛	腰壁 : 下見板張り、陶器
建設年 :	屋根 : 瓦
参考文献・参考サイト等 :	
<a href="http://www.michisakari.com/">http://www.michisakari.com/</a>	



## 42. 太陽酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1

創業 : 1771 年

代表銘柄 : 三千盛

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.michisakari.com/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦





### 43. 江井ヶ嶋酒造株式会社

#### 基本情報

所在地	: 岐阜県多治見市笠原町 2919-1	活用用途	: 不使用
創業	: 1771 年	外壁	: 白壁
代表銘柄	: 三千盛	腰壁	: 下見板張り、陶器
建設年	:	屋根	: 瓦
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://www.michisakari.com/">http://www.michisakari.com/</a>		





## 44. 茨木酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1

創業 : 1771 年

代表銘柄 : 三千盛

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.michisakari.com/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦





## 45. 石蔵酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1

創業 : 1771 年

代表銘柄 : 三千盛

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.michisakari.com/>

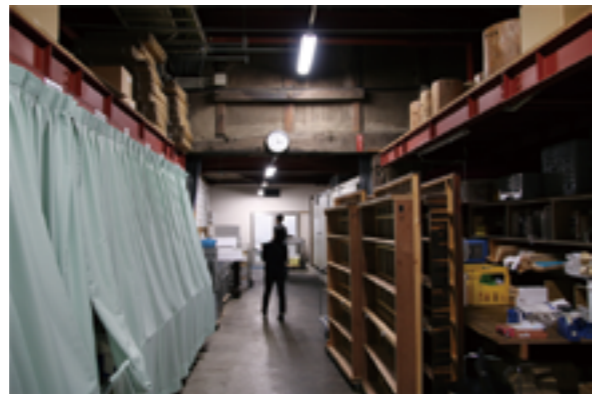
活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦





## 46. 有限会社白糸酒造

### 基本情報

所在地 : 岐阜県多治見市笠原町 2919-1

創業 : 1771 年

代表銘柄 : 三千盛

建設年 :

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.michisakari.com/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り、陶器

屋根 : 瓦



## 47. 瑞穂錦酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 福岡県久留米市大善寺町藤吉 940  
 創業 : 安政元年  
 代表銘柄 : 瑞穂錦  
 参考文献・参考サイト等 :  
<http://www.crossroadfukuoka.jp/event/?mode=detail&id=400000006430&isSpot=1>

建設年 : 昭和 56 年 (飲食店)  
 活用用途 : 飲食店・宴会場  
 外壁 : トタン  
 腰壁 : トタン  
 屋根 : 瓦



## 48. 池亀酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 福岡県久留米市三潞町草場 545

創業 : 明治 8 年

代表銘柄 : 池亀

建設年 : 明治→一部を昭和に建て替え

参考文献・参考サイト等 :

<http://ikekame.com/>

活用用途 : 不使用

外壁 : 白壁、トタン、ガルバリウム鋼板

腰壁 : 板張り、トタン

屋根 : 瓦、トタン、ガルバリウム鋼板





## 49. 旭菊酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 福岡県久留米市三潞町壱町原 403  
 創業 : 明治 33 年  
 代表銘柄 : 旭菊  
 建設年 : 1950 年代 (精米倉)  
 参考文献・参考サイト等 :  
<http://www.asahigiku.com/>

活用用途 : 物置、イベントスペース  
 外壁 : 板張り、モルタル  
 腰壁 : なまこ壁、煉瓦  
 屋根 : 瓦、ガルバリウム鋼板





## 50. 筑紫の誉酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 福岡県久留米市城島町青木島 181  
 創業 : 明治 30 年  
 代表銘柄 : 筑紫の誉  
 建設年 : 明治初期  
 参考文献・参考サイト等 :  
<http://c-homare.com/>

活用用途 : 飲食店  
 外壁 : 白壁  
 腰壁 : 板張り  
 屋根 : 瓦



## 51. 五町田酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 佐賀県嬉野市塩田町大字五町田甲 2081	活用用途 : 不使用
創業 : 1922 年	外壁 : 板張り、ガルバリウム鋼板
代表銘柄 : 東一	腰壁 : サイディング
建設年 : 大正 10 年以前 (精米倉)	屋根 : 瓦
参考文献・参考サイト等 : <a href="http://www.azumaichi.com/">http://www.azumaichi.com/</a>	



## 52. 矢野酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 佐賀県鹿島市大字高津原 3903-1	活用用途 : コンサート、絵画・陶芸・写真等の展示
創業 : 寛政 8 年	外壁 : 板張り
代表銘柄 : 竹の園	腰壁 : ガルバリウム鋼板
建設年 : 明治 37 年、昭和 30 年 (鉄骨造)	屋根 : 瓦
参考文献・参考サイト等 : <a href="http://www.yanoshuzou.jp/">http://www.yanoshuzou.jp/</a>	



## 53. 富久千代酒造有限会社



### 基本情報

所在地 : 佐賀県鹿島市浜町 1244-1

創業 : 大正末期

代表銘柄 : 鍋島

建設年 : 大正、昭和

参考文献・参考サイト等 :

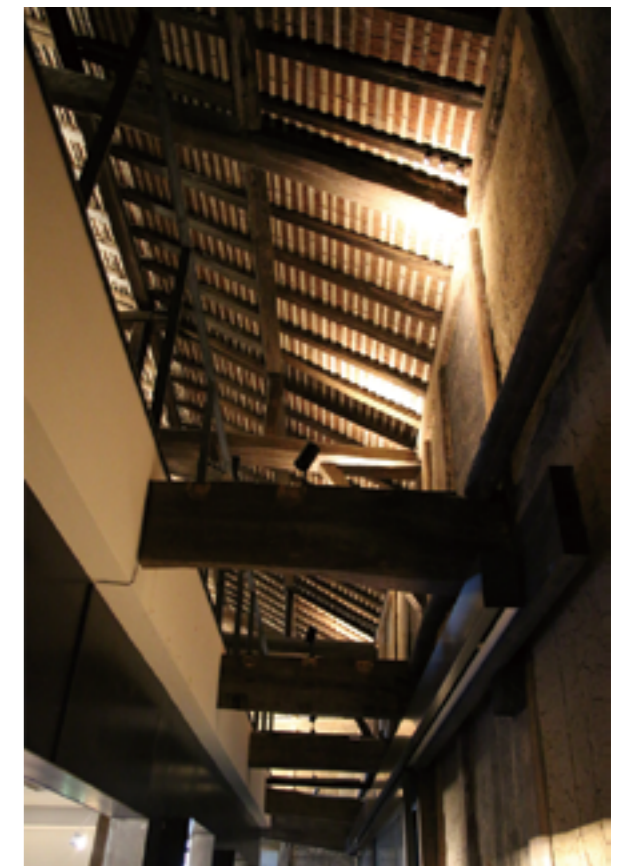
<http://nabeshima.biz/>

活用用途 : イベントスペース

外壁 : 板張り

腰壁 : ガルバリウム鋼板

屋根 : 瓦







## 59. 島岡酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 群馬県太田市由良町 375-2

創業 : 文久 3 年

代表銘柄 : 群馬泉

建設年 : 不明

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.gunma-sake.or.jp/gunmaizumi/index.php>

外壁 : 白壁

腰壁 : 下見板張り

屋根 : 瓦



## 60. 龍神酒造株式会社

### 基本情報

所在地	: 群馬県館林市西本町 7-13	外壁	: ガルバリウム鋼板
創業	: 江戸期	腰壁	: なし
代表銘柄	: 尾瀬の雪どけ	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://www.ryujin.jp/">http://www.ryujin.jp/</a>		



## 61. 分福酒造株式会社

### 基本情報

所在地	: 群馬県館林市仲町 3-15	外壁	: 新築のため対象外とする
創業	: 文政 8 年	腰壁	: //
代表銘柄	: 分福	屋根	: //
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://www.bunbuku.net/">http://www.bunbuku.net/</a>		



## 63. 合資会社丸永酒造場

### 基本情報

所在地 : 長野県塩尻市大字広丘高出 840  
 創業 : 明治 4 年  
 代表銘柄 : 高波  
 建設年 : 不明  
 参考文献・参考サイト等 :  
<http://www.takanami-sake.co.jp/>

外壁 : トタン  
 腰壁 : トタン  
 屋根 : 瓦



## 64. 舞姫酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 長野県議訪市議訪 2-9-25  
 創業 : 明治 27 年  
 代表銘柄 : 舞姫  
 建設年 : 明治 26 年  
 参考文献・参考サイト等 :  
<http://www.maihime.co.jp/>

外壁 : 白壁、ガルバリウム鋼板  
 腰壁 : ガルバリウム鋼板  
 屋根 : 瓦、ガルバリウム鋼板



## 65. 宮坂醸造株式会社

### 基本情報

所在地	: 長野県諏訪市元町 1-16	外壁	: 下見板張り
創業	: 寛文 2 年	腰壁	: 下見板張り
代表銘柄	: 真澄	屋根	: 瓦、ガルバリウム鋼板
建設年	: 昭和 57 年		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://www.masumi.co.jp/">http://www.masumi.co.jp/</a>		



## 67. 株式会社萬乗醸造

### 基本情報

所在地	: 愛知県名古屋市長区大高町字西門田 41	外壁	: 白壁、下見板張り
創業	: 寛政元年	腰壁	: 下見板張り、板張り
代表銘柄	: 醸し人九平次	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://kuheiji.co.jp/">http://kuheiji.co.jp/</a>		



## 68. 金虎酒造株式会社

### 基本情報

所在地	: 愛知県名古屋市中区山田 3-11-16	外壁	: 板張り、サイディング
創業	: 弘化二年	腰壁	: トタン
代表銘柄	: 金虎	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://www.kintora.jp/">http://www.kintora.jp/</a>		



## 69. 東春酒造株式会社

### 基本情報

所在地	: 愛知県名古屋市守山区瀬古東 3-1605	外壁	: 白壁
創業	: 元治2年	腰壁	: 下見板張り
代表銘柄	: 東龍	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://www.azumaryu.co.jp/">http://www.azumaryu.co.jp/</a>		



## 70. 山田酒造株式会社

### 基本情報

所在地	：愛知県海部郡蟹江町大字須成 1245	外壁	：白壁、板張り、サイディング、トタン
創業	：明治4年	腰壁	：下見板張り、板張り、モルタル、トタン
代表銘柄	：酔泉	屋根	：瓦
建設年	：明治3年		
参考文献・参考サイト等：	<a href="http://www.aichi-sake.or.jp">http://www.aichi-sake.or.jp</a>		



## 71. 甘強酒造株式会社

### 基本情報

所在地	：愛知県海部郡蟹江町城 4-1	外壁	：トタン
創業	：文久2年	腰壁	：板張り、トタン
代表銘柄	：四天王	屋根	：瓦
建設年	：不明		
参考文献・参考サイト等：	<a href="http://www.kankyo-shuzo.co.jp/">http://www.kankyo-shuzo.co.jp/</a>		



## 72. 合資会社後藤酒造場

### 基本情報

所在地 : 三重県桑名市赤尾 1019

創業 : 大正6年

代表銘柄 : 青雲

建設年 : 不明

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.sake-seiun.com/>

外壁 : 白壁、トタン

腰壁 : 板張り、サイディング、トタン

屋根 : 瓦



## 73. 安達本家酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 三重県三重郡朝日町繩生 2107-1

創業 : 1910年

代表銘柄 : 富士の光

建設年 : 不明

参考文献・参考サイト等 :

<http://www.fujinohikari.com/>

外壁 : 板張り、モルタル、トタン

腰壁 : トタン

屋根 : 瓦



## 74. 有限会社稲垣

### 基本情報

所在地	: 三重県三重郡朝日町大字柿 2174	外壁	: 白壁、トタン
創業	: 元禄元年	腰壁	: トタン
代表銘柄	: 御山杉	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://www.kinpa.jp/">http://www.kinpa.jp/</a>		



## 75. 株式会社タカハシ酒造

### 基本情報

所在地	: 三重県四日市市松寺 2丁目 15-7	外壁	: 白壁、トタン
創業	: 文久 2年	腰壁	: 板張り
代表銘柄	: 伊勢	屋根	: 瓦、トタン
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://ise-shiroki.com/corporate.htm">http://ise-shiroki.com/corporate.htm</a>		





## 76. 石川酒造株式会社

### 基本情報

所在地	: 三重県四日市市桜町 129	外壁	: 下見板張り、ガルバリウム鋼板
創業	: 天保元年	腰壁	: 下見板張り
代表銘柄	: 噴井	屋根	: 瓦
建設年	: 天保		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://www.e-sakagura.co.jp/">http://www.e-sakagura.co.jp/</a>		



## 78. 西田酒造株式会社

### 基本情報

所在地	: 滋賀県甲賀市水口町松栄 1-29	外壁	: 土壁、ガルバリウム鋼板
創業	: 不明	腰壁	: 板張り、トタン
代表銘柄	: 酔小町	屋根	: 瓦、ガルバリウム鋼板
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://shiga-jizake.net/festa/kuramoto">http://shiga-jizake.net/festa/kuramoto</a>		



## 79. 宇野酒造場

### 基本情報

所在地	: 滋賀県野洲市野洲 236	外壁	: モルタル
創業	: 元和五年	腰壁	: 煉瓦
代表銘柄	: 玉の春	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等	: <a href="http://www.itinotani.co.jp/">http://www.itinotani.co.jp/</a>		



## 80. 宇野酒造有限公司

### 基本情報

所在地	: 滋賀県野洲市野洲 429	外壁	: 煉瓦、トタン
創業	: 不明	腰壁	: トタン
代表銘柄	: 千代世界	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等	: <a href="http://www.meritbank.net/koimari/">http://www.meritbank.net/koimari/</a>		



## 81. 月の里酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 滋賀県大津市石山寺 3-29-9	外壁: 新築のため、対象としない
創業 : 大正 9 年	腰壁: "
代表銘柄 : 月の里	屋根: "
建設年 : 大正	
参考文献・参考サイト等 : <a href="http://www.tokyoizen.com/kura/SIG/SIG020.html">http://www.tokyoizen.com/kura/SIG/SIG020.html</a>	



## 83. 白鷹株式会社

### 基本情報

所在地 : 兵庫県西宮市浜町 1 番 1 号	外壁: 板張り
創業 : 文久 2 年	腰壁: 板張り
代表銘柄 : 白鷹	屋根: 瓦
建設年 : 不明	
参考文献・参考サイト等 : <a href="http://www.hakutaka.jp/">http://www.hakutaka.jp/</a>	



## 84. 木谷酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 兵庫県西宮市 14-5	外壁: 板張り
創業 : 天保 4 年	腰壁: 板張り
代表銘柄 : 喜一	屋根: 瓦
建設年 : 不明	
参考文献・参考サイト等 : <a href="http://www.kiichi-osake.jp/">http://www.kiichi-osake.jp/</a>	



## 85. 日本盛株式会社

### 基本情報

所在地 : 兵庫県西宮市用海町 4 番 57 号	建設年 : 昭和
創業 : 明治 22 年	外壁 : 新築のため、対象としない
代表銘柄 : 日本盛	腰壁 : //
参考文献・参考サイト等 :	屋根 : //
<a href="http://www.nihonsakari.co.jp/index.shtml">http://www.nihonsakari.co.jp/index.shtml</a>	



## 86. 國産酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 滋賀県西宮市東町 1 丁目 12-34	外壁 : 新築のため、対象としない
創業 : 明治 9 年	腰壁 : //
代表銘柄 : 灘自慢	屋根 : //
建設年 : 不明	
参考文献・参考サイト等 : <a href="http://www.seiriki.net/">http://www.seiriki.net/</a>	



## 87. 大澤本家酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 兵庫県西宮市東町 1 丁目 13-28	外壁 : 新築のため、対象としない
創業 : 明和 7 年	腰壁 : //
代表銘柄 : 寶娘	屋根 : //
建設年 : 昭和	
参考文献・参考サイト等 : <a href="http://ohsawasyuzo.com/">http://ohsawasyuzo.com/</a>	



## 88. 大関株式会社

### 基本情報

所在地 : 滋賀県西宮市今津出在家町 4-9	外壁 : 新築のため、対象としない
創業 : 正徳元年	腰壁 : //
代表銘柄 : 大関	屋根 : //
建設年 : 昭和	
参考文献・参考サイト等 : <a href="http://www.ozeki.co.jp/">http://www.ozeki.co.jp/</a>	



## 89. 今津酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 兵庫県西宮市今津社前町5-2 2	外壁 : 新築のため、対象としない
創業 : 宝暦元年	腰壁 : //
代表銘柄 : 扇正宗	屋根 : //
建設年 : 昭和	
参考文献・参考サイト等 :	
<a href="http://www.meritbank.net/koimari/">http://www.meritbank.net/koimari/</a>	



## 90. 鷹正宗株式会社

### 基本情報

所在地 : 福岡県久留米市大善寺町黒田 297	外壁 : モルタル、トタン、ガルバリウム鋼板
所在地 : 福岡県久留米市大善寺町黒田 297	外壁 : モルタル、トタン、ガルバリウム鋼板
創業 : 天保年間	腰壁 : 煉瓦、ガルバリウム鋼板
創業 : 天保年間	腰壁 : 煉瓦、ガルバリウム鋼板
代表銘柄 : 鷹正宗	屋根 : トタン
代表銘柄 : 鷹正宗	屋根 : トタン
建設年 : 不明	
建設年 : 不明	
参考文献・参考サイト等 :	
参考文献・参考サイト等 :	
<a href="http://www.takamasamune.com/">http://www.takamasamune.com/</a>	
<a href="http://www.takamasamune.com/">http://www.takamasamune.com/</a>	



## 91. 万年亀酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 福岡県久留米市三瀧町草場 68-4  
創業 : 明治 25 年  
代表銘柄 : 万年亀  
建設年 : 不明  
参考文献・参考サイト等 :  
<http://www.mannengame.info/index.htm>

外壁 : 板張り、トタン  
腰壁 : 板張り  
屋根 : 瓦



## 92. 比翼鶴酒造株式会社

### 基本情報

所在地 : 福岡県久留米市城島町内野 466-1  
創業 : 明治 28 年  
代表銘柄 : 比翼鶴  
建設年 : 昭和  
参考文献・参考サイト等 :  
<http://www.hiyokutsuru.co.jp/>

外壁 : 新築のため、対象としない  
腰壁 : 〃  
屋根 : 〃



## 93. 有薫酒造株式会社

### 基本情報

所在地	: 福岡県久留米市城島町内野 330-9	外壁	: 板張り、トタン
創業	: 嘉永3年	腰壁	: 板張り
代表銘柄	: 有薫	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://www.fukuoka-sake.org/map/detail.php?ID=46">http://www.fukuoka-sake.org/map/detail.php?ID=46</a>		



## 94. 株式会社花の露

### 基本情報

所在地	: 福岡県久留米市城島町城島 223-1	外壁	: 白壁、板張り、モルタル
創業	: 1745年	腰壁	: 板張り
代表銘柄	: 花の露	屋根	: 瓦、トタン
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://www.fukuoka-sake.org/map/detail.php?ID=46">http://www.fukuoka-sake.org/map/detail.php?ID=46</a>		



## 95. 清力酒造株式会社

### 基本情報

所在地	: 福岡県大川市鐘ヶ江 9-1	外壁	: 板張り
創業	: 明治 9 年	腰壁	: 板張り
代表銘柄	: 清力	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等	: <a href="http://www.seiriki.net/">http://www.seiriki.net/</a>		



## 96. 若波酒造合名会社

### 基本情報

所在地	: 福岡県大川市鐘ヶ江 752	外壁	: 板張り、モルタル、サイディング、トタン
創業	: 大正 11 年	腰壁	: トタン
代表銘柄	: 若波	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等	: <a href="http://www.wakanami.jp/">http://www.wakanami.jp/</a>		



## 97. 瀬頭酒造株式会社

### 基本情報

所在地	: 佐賀県嬉野市塩田町五町田甲 3117	外壁	: 白壁、板張り
創業	: 寛政元年	腰壁	: 板張り
代表銘柄	: 東長	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等	: <a href="http://azumacho.co.jp/">http://azumacho.co.jp/</a>		





## 98. 株式会社峰松酒造場

### 基本情報

所在地	: 佐賀県鹿島市浜町乙 2761-2	外壁	: 板張り、トタン、ガルバリウム鋼板
創業	: 1914年	腰壁	: トタン
代表銘柄	: 菊王将	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://www.hizennya.com/">http://www.hizennya.com/</a>		



## 99. 合資会社光武酒造場

### 基本情報

所在地	: 佐賀県鹿島市浜町乙 2421	外壁	: 白壁
創業	: 元禄元年	腰壁	: なし
代表銘柄	: 金波	屋根	: 瓦
建設年	: 不明		
参考文献・参考サイト等:	<a href="http://www.kinpa.jp/">http://www.kinpa.jp/</a>		



## 100. 古伊万里酒造有限公司

### 基本情報

所在地 : 佐賀県伊万里市二里町中里甲 3288-1	外壁 : 新築のため、対象としない
創業 : 明治 42 年	腰壁 : //
代表銘柄 : 古伊万里	屋根 : //
建設年 : 不明	
参考文献・参考サイト等 :	
<a href="http://www.meritbank.net/koimari/">http://www.meritbank.net/koimari/</a>	



### 資料編

### 参考文献・出典

- 1) 守山薫：「酒蔵名鑑 2014～15年版」，株式会社フルネット，2014. 4. 10
- 2) 宮尾侑里：「醸造工程の近代化が酒蔵建築に与えた影響に関する研究-新潟県の95事例を対象として-」，首都大学東京都市環境学部建築都市コース 平成25年度 特別研究梗概集
- 3) 山口昭三：「日本の酒蔵」，(財)九州大学出版会，2009. 3. 10
- 4) 鈴木芳行：「日本酒の近現代史 -酒造地の誕生-」，吉川弘文館，2015. 5. 1
- 5) 鹿島酒蔵ツーリズム (<http://sakagura-tourism.com/main/>) ，2015. 1閲覧

---

## 謝辞

---

本論文は筆者が首都大学東京大学院都市環境科学研究科建築学域博士前期課程に在籍中の研究成果をまとめたものです。また本論文を作本論文を執筆するに当たり、指導教員である首都大学東京大学院 鳥海基樹准教授には的確な指導をして頂きました。学部時代を含め、3年間研究室を見守っていただいたことで、集大成となる本論文を書き上げることができました。ここに多大な感謝を申し上げます。

また、調査に当たりアンケートにご協力していただいた、日本酒酒造の皆様、ご丁寧な回答のおかげで貴重な意見を得ることができました。お忙しい中ヒアリングと酒蔵見学にもご協力して頂いた、池浦酒造様、柏露酒造様、頸城酒造様、石塚酒造様、今代司酒造様、笹祝酒造様、今井酒造店様、山川酒造様、山崎酒造様、善哉酒造様、岩波酒造様、亀田屋酒造店様、笑亀酒造様、麗人酒造様、伊東酒造様、酒ぬのや本金酒造様、平和錦酒造様、松井屋酒造場様、小坂酒造場様、三千盛様、岩村醸造様、富士高砂酒造様、土井酒造場様、盛田金しゃち酒造様、神の井酒造様、山盛酒造様、青木酒造様、早川酒造部様、伊藤酒造様、笑四季酒造様、美富久酒造様、北島酒造様、竹内酒造様、暁酒造様、古川酒造様、平井商店様、松山酒造様、玉乃光酒造様、山本本家様、北川本家様、増田徳兵衛商店様、太陽酒造様、江井ヶ嶋酒造様、茨木酒造様、石蔵酒造様、白糸酒造様、瑞穂錦酒造様、池亀酒造様、旭菊酒造様、筑紫の誉酒造様、五町田酒造様、矢野酒造様、富久千代酒造様、幸姫酒造様、井手酒造様、松尾酒造場様、松浦一酒造様、皆様のご協力と激励のお言葉により本論文を書き上げる事が出来ました。貴重な時間を確保して頂いた事に感謝申し上げます。

最後に、建築学域や都市設計研究室の学友のおかげで、実りある生活を送ることができました。登校する頻度は非常に少なく、常に短い滞在時間でしたが、おいしいお酒を飲む機会は非常に多く、充実した生活を過ごすことが出来ました。感謝申し上げます。

また機会があればみなさんと有意義な時間を過ごすことができれば、幸いです。

2016 年 2 月 8 日

宮尾 侑里